

Designing beyond Design.

Create a Mindful Future, Together



Japan Industrial Design Association

JIDA ANNUAL REPORT 2022-23

2022年度 JIDA事業報告書

目次

1	ごあいさつ
2	JIDAとは
3	組織図
4	2022年度事業概要
5	JIDA 創立70周年記念式典
6－7	資格付与事業 － 資格検定委員会
8－9	体験活動事業 － 体験活動委員会 － 学生支援委員会
10－12	ミュージアム事業 － セレクション委員会 － ミュージアム委員会
13－15	調査・研究事業 － 社会課題研究委員会 － 素材加工研究委員会 － プロフェッション委員会
16－18	交流事業 － インハウス委員会 － 渉外委員会
19－21	セミナー他事業 － 70周年委員会 － セミナー委員会 － ブロック交流委員会
22－32	6事業横断活動 － 活動ブロック図 － 東日本ブロック － 中部ブロック － 北陸ブロック － 関西ブロック － 西日本ブロック
33－35	広報 － 情報委員会 － 出版委員会 － ギャラリー委員会
35	内務
36－37	新入会員紹介

ごあいさつ

理事長 太刀川 英輔

Eisuke Tachikawa, President



JIDAは1952年に柳宗理・剣持勇・渡辺力ら25人のデザイナーによって創立された、日本で最も長い歴史をもつデザインの業界団体です。2022年度は記念すべき70周年を迎え、様々なイベントが盛大に行われました。この70周年事業にあたっては、法人会員、個人正会員を中心に多くの方々からご寄付ご支援を賜りました。また、積極的に事業を盛り上げるためにご協力いただいた会員の皆さまにも改めて御礼申し上げます。

また70周年事業のために例年以上の支出が発生することを見込んでおりましたが、既存事業と受託事業が好調だったため、若干のプラス決算で納めることができました。事業を順調に発展させていただいた委員会の皆様、ありがとうございました。

これからのJIDAにとって重要なトピックとして、私たちは世界40カ国が参加するWDO(The World Design Organization、旧Icsid)の創立団体の一つでもあります。そのWDOが継続開催する世界デザイン会議が、この秋に34年ぶりに日本で開催されます。

この会の実行委員長には、我々の元理事長である田中一雄さんが名を連ね、実行委員には私を含めJIDAの方々が多く関わって準備を進めています。

東京で行われるこの会議には、Humanity(人文科学)、Technology(科学技術)、Planet(地球環境)、Policy(デザイン政策)の4つのテーマが設定され、未来のためのデザインの可能性を探究する様々な議論が行われる予定です。まさに世界のデザインにとってのビッグイベント。JIDA会員の皆様も積極的に関わっていただけたら大変心強いです。

また日本デザイン団体協議会(DOO / 旧D-8)においては、私たちが幹事団体を2年務めました。D-8という団体は、DSA JAGDA JID JJDA JPDA SDAそして我々 JIDAの7団体を擁する、プロフェッショナルデザイン団体の合同協議会です。この会の活性化に取り組む中で、この2年でJIDAと他団体の結束はかつてなく強固になりました。

今年はJIDA総会を積極的に他団体と合同開催し、同日に初のD-8合同イベントとしてJAPAN DESIGN SUMMIT2023を実現しました。このイベントは、各団体が認定するアワードの受賞作を通して、その年のデザインの傾向を語り合う内容で、約300人の参加者が訪れました。

本イベントにおいて、D-8はその団体の愛称をDOOに変更しました。また同時に英語名称を「JAPAN DESIGN ORGANIZATIONS AS ONE」へと変更しています。日本のデザインにとって歴史に残る変化を、JIDAが本団体の幹事団体のうちに成し遂げられたのは、まさにJIDAの事務局や理事メンバーを始め、会員の皆様のご協力があったことでした。

この2022年度には役員改選が行われ、JIDAは新しい理事会体制となりました。この新しいメンバーを中心として、好調な既存事業をさらに推進し、変化を加速させたいと考えています。例えば企業会員のコミュニティーをより活性化させること、プロダクトデザイン検定の事業をより包括的なデザイン検定として作り直し、将来のJIDAの収益基盤を作る準備をすること、デザインミュージアムの具現化に向けて動くこと。こうしたことが一歩ずつ、世の中を今よりも少し創造的で楽しく、持続可能にする事につながると信じています。

Designing beyond design.

デザインその先のデザインへ。

今年もまたJIDA会員の皆様と共に、デザインの力を少しずつ社会に注入できればと思っています。

Designing beyond design.

JIDAとは

日本で唯一のインダストリアルデザイン全国組織

Japan Industrial Design Association

「公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会／JIDA」は、プロフェッショナルなインダストリアルデザインに関する唯一の全国組織です。その前身は、1952年に創立された「日本インダストリアルデザイナー協会」であり、2021年に「日本インダストリアルデザイン協会」へと改変致しました。

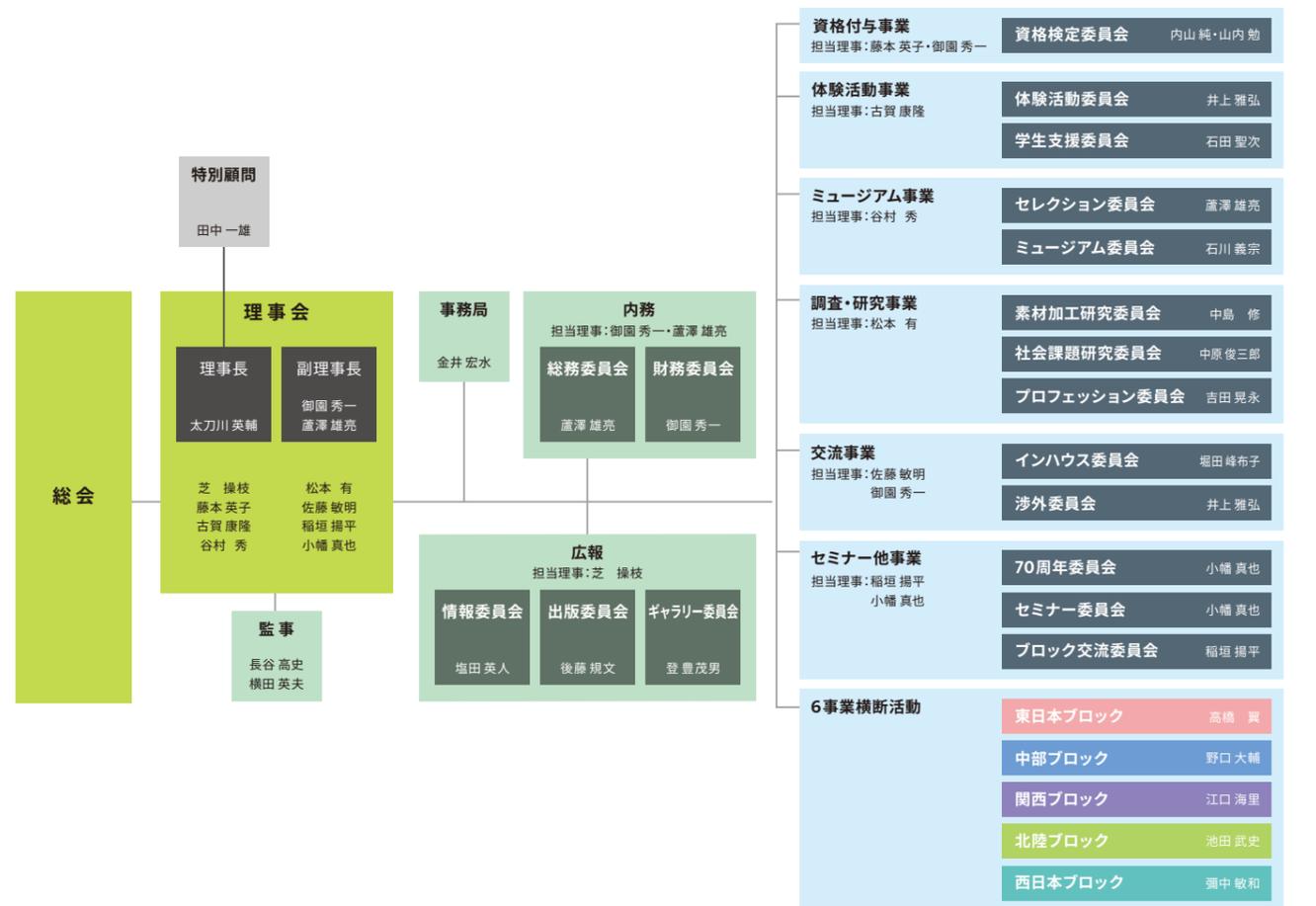
インダストリアルデザインは、量産を前提とした工業製品の「使いやすさと美しさ」を目的とし、モノづくりに関わるデザイン領域として発展してきました。そして今日では、産業全般にわたる領域を対象とするだけでなく、その手法・意味・役割などを大きく拡げています。もはやインダストリアルデザインは、従来の製品開発のみならず、人々の生活体験や価値の創造へと展開し、「社会・経済の持続的発展」と「生活文化の向上」を使命として活動しているのです。

JIDAの具体的な活動対象は、「資格付与、セミナー、体験活動、ミュージアム、調査・研究、交流」という公益6事業が中心となっています。また、これらの活動とともに、会員相互の情報共有や職能支援をおこない、プロフェッショナルな能力の向上に努めています。こうした活動は、相乗的にインダストリアルデザインを深化充実させ、変化を続ける社会に貢献するものとなっています。

JIDAの組織としては、全国横断的なセンター活動と、5つの地域ごとのブロック活動により構成されています。センター活動は公益6事業を中心に、国内外でのインダストリアルデザインの普及啓発をおこなっています。また、各ブロック活動ではセミナーやワークショップを通じて、インダストリアルデザインの価値向上と地域の活性化を進めています。

このようにJIDAは長い歴史と実績を背景として、常に社会と時代の変化に目を向け、インダストリアルデザインを通じた心豊かな未来への共創を目指して歩み続けています。

組織図



2022年度事業概要

創立70周年という節目の年となったこの1年間は、各種記念事業を企画・推進し、例年より活発な活動ができた年となった。公益6事業それぞれの事業の中で70年の歴史を再認識し、その足跡を振り返る年となったが、特にセミナー事業では「70周年記念リレーセミナー」と称し、全国5ブロック主催の事業に加え、企業内デザイナーが製品開発の中での実体験を通してデザインを語る連続セミナーを開催するなど、多数の一般聴取者に大きな発信をすることができた。

関係機関との交流・協力では、日本デザイン団体協議会（D8）の幹事団体として加盟団体を牽引し、経済産業省や日本デザイン振興会なども巻き込んだデザインイベントの開催、または他団体の事業に協力するなどの活動が行なわれた。またDX化の流れを捉え、IT系各種サービスを活用した発信力の強化や、公式サイト刷新による広報の充実化を図った。

1. 資格付与事業

《国民から信頼される職能の確立》

インダストリアルデザインの普及・啓発を目的に、商品開発に関わる人やスマートな暮らしをしたい人に向けた関連知識の評価となるプロダクトデザイン検定（PD検定）事業と関連出版事業、この二つの事業の相乗効果を基本に運営している。本年度は出版事業の品質改善に努めたため、広報や普及活動を計画どおりに実施できず受験者数は減少したが、2級公式テキストの増刷前倒し実施で当初予算計画はほぼ達成できた。

2. セミナー事業

《専門的知見の充実による社会貢献の推進》

創立70周年事業の推進に伴い、各委員会やブロックにおいて様々なセミナーを多数開催したことによって、インダストリアルデザインの普及啓発を強力に推進できた1年だった。コロナウィルスへの慣れと状況の改善もあって、対面開催も可能になるなど影響も限定的になってきたことで、開催がし易くなり参加者も増えた。募集方法の多様化も功を奏し、リモート参加者は特に増えている。

3. 体験活動事業

《次世代人材の育成による国家基盤の充実》

主に若手デザイナーやデザイン系の学生を対象とした体験活動は、明日の日本を背負う人々を対象とした人材育成事業であり、デザインの普及啓発に大きな役割を果たしている。

学生の国際的視野を広げるために毎年開催している、韓国インダストリアルデザイン協会（kaid）、台湾工業デザイン協会（CIDA）と共同で開催する国際学生デザインワークショップは、オンラインワークショップの形式で韓国で開催された。Next EcoDesignワークショップ、電車ワークショップ、子どもデザインワークショップも例年通り行なわれた。

4. ミュージアム事業

《デザインを通じた日本文化の高度化》

24回目となるデザインミュージアムセレクション Vol.24を実施。230点の推薦品の中から審査委員による選定審査と、特別審査委員によるゴールドセレクションの審査を行い、合計54点（ゴールドセレクション5点含む）を選定。例年通りAXISギャラリーでの展覧会、選定証授与式、デザインフォーラム、図録発行を実施した。創立70周年事業の一環として、11月20日～29日の間、AXISギャラリーにて70周年記念展覧会を開催した。六本木のJIDAデザインミュージアム in AXISではセレクション Vol.23選定品の常設展示を、4ヶ月毎に入れ替えて3回、通年を通して実施した。

他にも、パッケージデザインパビリオン、京都インターナショナルギフトショー、国際医療機器展 Medtec Japan など、それ以外にも日本デザイン団体協議会（D8）が豊島区と共催で行う事業「街中まるごとくデザインミュージアム」池袋」の中で展示会を実施した。

5. 調査・研究及びその普及事業

《専門性の深化及び客観化》

調査・研究事業には、民間では提供できないデザインツールを使い易い形に開発し普及させる事業と、デザイナーや関連産業に関わる人たちに役立つ専門情報を提供する事業、更に社会問題を解決する目的の調査・研究を行う事業と、知的財産に関する

調査・研究事業などがある。2022年度は非常に活発な活動ができた。JIDA STANDARD SAMPLES の頒布は、新刊「6-木のサンプル帳」発刊に伴って全体的に頒布が広がった。KIDS DESIGN TOOLS の頒布は低調、産総研、消防庁との共同研究会は例年通り隔月で6回実施した。日本弁理士会意匠部会との共同研究会は、プチセミナー 4回と共同公開イベントを2回開催した。

6. 内外関係機関との交流及び協力を行う事業

《社会貢献及びデザイン価値の拡充発展》

日本のデザインやデザイナーに対するリスペクトを背景にした海外デザイン団体や企業からの要請は更なるネットワーク拡大へ繋がっており、日本のデザイナーの海外進出に向けた支援は協会の重要なミッションのひとつであり今後の課題でもある。

Asia Design Assembly（ADA）は、韓国：kaid、台湾：CIDA、各代表によるオンライン会議に参画しディスカッションを重ねた。WDO（World Design Organization）、JDP（日本デザイン振興会）との連携で国際インダストリアルデザイナー（6/29）のオンラインイベントを支援。CHINAPLAS は、デザインフォーラムでの講演のスピーカー選定と広報と連携しスピーチビデオ制作などの支援を行った。WDA2023には人的支援を多数展開。蘇州市政府の委託を受けた中日工業設計中心からの依頼による展示やデザイン賞などへの協力事業も進行中。

7. 共益事業

主にフリーランスデザイナーを対象にした会員向け知財相談窓口「DPホットライン」を通年開設し、会員からの知財相談に対応している。2022年度も意匠登録の申請に関する相談や、知財に関するトラブル等が寄せられ、専門家が真摯に対応した。毎年一度、外部向け年間活動報告書として「アニュアルレポート」を編集・印刷し、広く一般に発信している。2022年度も2021年度のレポートを8月に800部印刷、内外の関係各所や全ての会員に配布した。

公式サイトを大幅リニューアルし、委員会やブロックが自身のサイトを常時更新できるように改良した。これにより、広報に都度依頼することなく、スムーズにリアルタイムの情報発信が可能となる。



JIDA創立70周年記念式典

日時：2022年11月22日（火）13:00～17:00

会場：AXISギャラリー

来場者：60名

開会：70周年担当理事 小幡真也

挨拶：理事長 太刀川英輔

祝辞：経済産業省 商務・サービスグループデザイン

政策室 企画官 吉岡 勇治、公益財団法人日本デザ

イン振興会 理事長 深野 弘行、ビデオメッセージ

WDO、kaid、CIDA、JAGDA

閉会：副理事長 御園 秀一

■70周年記念式典第一部 フォーラム

大きく変化する地球環境に向きあう国際社会の一員としてこれからのデザイナーに求められる役割とは何か、また、デザインの持つ様々な課題解決の力やデザインドリヴンの力をどのように取り入れるかを提言・議論した。

①「明日をひらくデザイン～持続可能性をデザインから考える～」：WDO 世界デザイン会議東京2023 実行委員長 / JIDA特別顧問 田中一雄（株式会社GKデザイン機構 代表取締役社長CEO）、（公社）日本インダストリアルデザイン協会 理事長 太刀川英輔

②「デザインが日本を変える～これからの日本のデザイン政策と戦略～」：経済産業省 商務・サービスグループデザイン政策室 室長補佐 原川 宙、公益財団法人日本デザイン振興会 理事長 深野 弘行、（公社）日本インダストリアルデザイン協会 理事長 太刀川 英輔

■70周年記念式典第二部 表彰授与式

協力者表彰（入会50年以上の賛助会員）20社

協力者表彰（入会30年以上の賛助会員）12社

協力者表彰（会員外）団体&企業13社/個人1名
特別表彰 22名

■70周年記念デザインミュージアム展

～過去ー現在ー未来、時代を振り返り未来を創造～

日時：2022年11月23日（水）～26日（土）9:00～

19:00、会場：AXISギャラリー、参加者：235名

本展では70年前1952年からの暮らしの変化、時代性を加味した製品のデザインの変遷、活動の歴史を展示。13mにおよぶ「デザイン史的年表」では、暮らしの移り変わりや時代の製品、JIDAの活動とデザイン界の出来事を関連して掲載。「50s～10-20s製品展示」では、JIDAミュージアムコレクションを中心に、10年毎に区分した各時代のキーワードに沿った製品や話題の製品などを展示。

資格付与事業

担当理事
藤本 英子



担当理事
御園 秀一



資格検定委員会 委員長
内山 純



資格検定委員会 副委員長
山内 勉



産業と暮らしに関わるデザイン知識の評価と資格認証

資格検定委員会

商品開発のイノベーション、スマートな暮らしに活かすデザインの関連知識を学び、その理解度を評価する資格認証制度として、プロダクトデザイン検定 (PD検定) 事業と関連出版事業を行っている。本年度は、出版物の品質改善に努めたため、広報や普及活動を計画どおりに実行できず、資格検定の受験者数は減少したが、社会人受験者比率の増加が顕著であった。出版事業は堅調に推移し、「プロダクトデザインの基礎」(緑本)の増刷を実施した。

■PD検定事業

PD検定には社会人・大学院生向けの1級と専門学校・学部生向けの2級がある。それぞれの公式テキストに準拠して作成された試験問題をCBT (Computer Based Testing) 方式で受験する。2022年度の受験者数は計画に対して20%減、(対前年度10%減)の要因のひとつは専門学校生の減少から団体受験者が減ったことである。合格者数は前年度比98%であったが、資格認証登録者数は113%、特に社会人の登録者数は186%と増加した。本年度受験者の傾向として注目すべき点は、社会人

受験者の変化である。全受験者数に占める比率は69%と前年度に比べ増加、合格率も70%と上がっている。また、1級受験者の合格率も54%と前年度より増えている。このような数字から、本検定の狙いとした「デザイン関連知識の理解度評価」が業務上の「推奨資格」として認められつつあることを想定できる。昨今のリカレント教育、リスキングやジョブ型雇用への関心、そしてデザインの知識や思考過程を活かしたビジネスや生活スタイルへの注目などの社会動向を反映していると考えられる。

■関連出版事業

出版事業には、一般市販の書籍として「プロダクトデザイン[改訂版]」(PD検定1級の公式テキスト)と、その入門書として編集した「プロダクトデザインの基礎」(PD検定2級の公式テキスト)がある。プロダクトデザインを中心にデザイン分野を幅広く解説し、教育機関の教科書としても活用されている。「プロダクトデザイン[改訂版]」は本年度第2刷を刊行、出荷数は約900冊であり、「プロダクトデザインの基礎」の出荷数は約1,250冊、初刷以来1万冊を超え、本年度第5刷を前倒して増刷した。

また、PD検定試験の受験者向けには、事前学習に役立つ「PD検定1級問題集 (210問)」と「PD検定2級問題集 (150問)」があり、PD検定ホームページ (<https://jida-pdkentei.com>) から購入できる。なお、それぞれの抜粋版を無償で提供しており、本年度のダウンロード数は対前年度1.4倍で、その利用者はデザイン系の学生やデザイン開発関係者だけでなく、企画や管理系、メーカーやサービス系など多様性が見られる。

■事業運営と広報活動

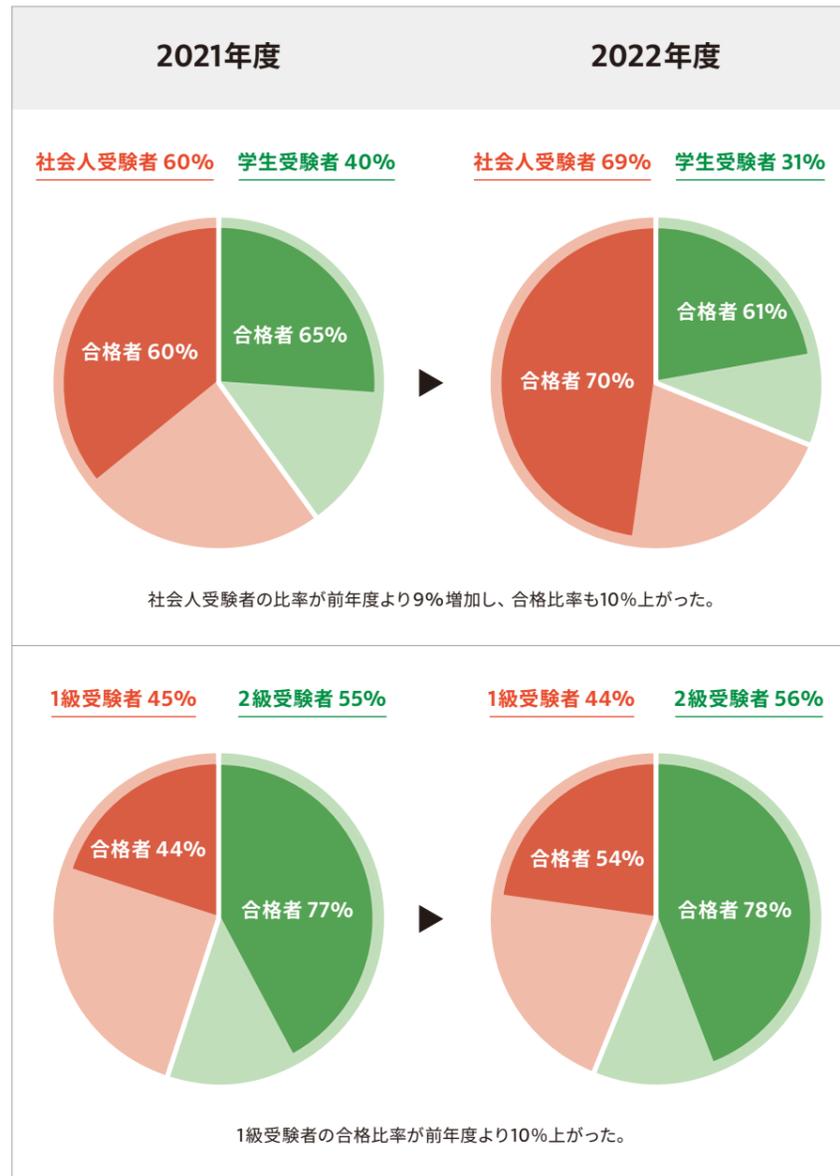
資格検定事業と出版事業の運営では関係会社との連携、検定試験システムの整備、改善を引き続き行ったが、受験者対応の満足度向上など、事業の成長に向けた検定事務機能の拡充が課題となった。また、広報活動ではホームページ、フライヤー、展示会などの媒体をとおして情報発信を行った。



PD検定ホームページ



CBTシステム問題画面例



受験者と合格者の傾向、昨年度との比較



関連出版物



PD検定フライヤー



PD検定紹介展示 (MEDTEC Japan 2022)

体験活動事業

担当理事
古賀 康隆



体験活動委員会委員長
井上 雅弘



学生支援委員会委員長
石田 聖次



次世代人材の育成による国家基盤の充実

主に若手デザイナーやデザイン系の学生を対象とした体験活動事業は、明日の日本を背負う世代を対象とした人材育成事業であり、20年以上に渡りデザインの普及啓発に大きな役割を果たしている。以下以外にも、国内各地で開催される企業訪問や工場見学会なども含まれる。

体験活動委員会

■国際学生デザインワークショップ (ISDW2022)
学生の国際的視野と交流を拓くために、韓国インダストリアルデザイン協会 (kaid)、台湾工業デザイン協会 (CIDA) と共同でADA (アジアデザイナーアセンブリ) を構成し、国際学生デザインワークショップを毎年開催している。
コロナの影響が続く中で、前年に引き続きオンラインワークショップ形式でkaidが中心となり今年のISDWが開催された。テーマは「Lost & Found

After Corona」(コロナ体験で失ったものと得たもの) で開催期間は8/3 (水) ~ 8/12 (金) の10日間。各国からそれぞれ20名、計60名のデザイン学生が参加し10チームに分かれてテーマに取り組んだ。パンデミックですっかりお馴染みになったZoom、Miro、Facebookなどのコミュニケーションツールを活用しながら各チームに配置された10名のTutorの指導・助言の元に、学生達は活発な論議とそれぞれの専門性を活かしたチームへの貢献により素晴らしいモノやシステムの提案としてまとめ上げ、ビデオプレゼンテーションを行った。

学生支援委員会

2022年は各ブロックでの事業に加え、JIDA 70周年事業に伴うイベントも含めて全国各地で学生が参加するイベントが開催された。そのような中で、センター事業として何をすべきかを議論するに留まり、具体的な活動には至らなかった。新年度からは体制も変わり、新たな方針のもとに委員募集活動から始めたい。

ADA
INTERNATIONAL STUDENT DESIGN WORKSHOP
2022 **Online**
Theme Lost & Found After Corona
Term 2022. 8. 3(wed.) - 8. 12(fri.)

Application Deadline 2022. 7. 7(thu.)
Official Organizer ADA (Asia Designers Assembly)
Executive Partner KAID (Korea Association of Industrial Designers)
CIDA (China Industrial Designers Association)
JIDA (Japan Industrial Design Association)
Participation Fees As a public utility,
KAID, CIDA, JIDA will pay the expenses of workshop
Contact KAID (Korea) : kaid@kaid.or.kr
CIDA (Taiwan) : service.cida@gmail.com
JIDA (Japan) : jidasec@jida.or.jp

国際学生デザインワークショップ (ISDW2022)

Cleanimon
INTERACTIVE HAND BRUSH
This is a hand washing brush that helps children wash their hands, a product that will make children fall in love with hand washing, and through the combination of apps, it is more fun for children to interact with their monsters, by taking care cleanimon, Children also learn to take care of themselves.

ISDW2022 - Cleanimon

Let me introduce our platform
"Food Planet"
We can have a **great time** here together and leave to places we haven't been to because of the corona.

ISDW2022 - Food Planet

ADA ISDW 2022 TEAM 10 LOST & FOUND AFTER CORONA Final PT

Wip
A pet robot connects parents and children

ISDW2022学生作品: Wip「親と子供を繋ぐペットロボット」

ミュージアム事業

担当理事
谷村 秀



セレクション委員会委員長
蘆澤 雄亮



ミュージアム委員会委員長
石川 義宗



心豊かな未来の共創

セレクション委員会

後世に残すべき優れた製品を収集しデザインの普及啓発活動を行う事を目的に、2022年度も広く一般に「優れたデザイン」の推薦を募り、選定 (Vol.24) を実施した。また、選定された製品による図録の発刊とWEB掲載、展示会を実施した。コロナ禍により見合わせていた授与式も当年度は実施した。

■デザインミュージアムセレクション

Vol.24 東京展

期間:2023年1月18日~1月22日

場所:AXISギャラリー

選定数:54点 (ゴールドセレクション:5点)

来場者数:約400名

DMセレクション図録:144ページ 2,300部 (国内外主要関係機関へ無償頒布)

■デザインフォーラム「ミュージアムセレクションから見えるデザインの方向性」

特別審査員4名の方々から、選定品を通じて視えてくるデザインの方向性について対談を実施した。

パネリスト:太刀川 英輔 (JIDA 理事長)、上條 昌宏 (AXIS 誌 編集長)、花澤 裕二 (日経デザイン 編集長)、橋田 規子 (芝浦工業大学 教授)
ファシリテーター:蘆澤 雄亮 (JIDA 副理事長)



デザインミュージアムセレクション

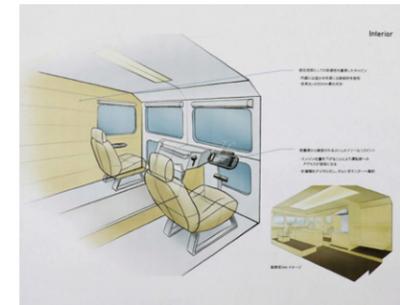
■「OHARA-LAV (新型南極観測用雪上車)

デザイン開発に於けるプロセス

語り手:椿 哲也 (株式会社大原鉄工所 技術・製造本部 第1技術部 製造設計1課 課長)

和田 紘典 (TWOOL DESIGN OFFICE 代表取締役 / デザイナー)

聞き手:石川 義宗 (ミュージアム委員長)、齋藤 和彦 (セレクション Vol.24 審査委員)



OHARA-LAV デザイン開発に於けるプロセス

ミュージアム委員会

今迄に収集した製品をデザインミュージアム in AXISにて年間を通じて常設展示を行うと共に、貸出による教育、産業、生活へといった文化的貢献に根差した取組みを実施。同時に、収蔵品の3Dデータ化を進め未来に向けたコレクションの収蔵、展示体制の構築を図る。

■70周年記念展覧会

1950年代から2020年代までの製品、および、年表を展示し、デザインの移り変わりやJIDAの歴史を概観できるようにした。その他、World Design Organization (WDO)の日本で最初の大会 ICSID'73 KYOTOのプロモーション映像などを上映した。

期間:2022年11月20日~2022年11月29日

場所:JIDAギャラリー (AXISビル4F)



70周年記念展覧会



デザインフォーラム



■街中まるごとーデザインミュージアムー池袋

日本デザイン団体協議会 (D-8) が取組む「ジャパンデザインミュージアム構想」の中で、2019年より継続している豊島区アート・カルチャー自主企画事業と共同で開催。JIDAの收藏品から音楽をテーマとして音響機器を展示した(展示名「インダストリアルデザインの世界-音楽のある暮らしとともに」)。各団体の展示に加え、講演会、ワークショップ、レクチャー等を開催。

期間:2022年11月1日(火)～6日(日)

場所:サンシャインシティ・ソラリウム

講演会:「人とデザイン・新たな街文化の創出」太刀川英輔、暮沢剛巳

パネルディスカッション:「What's the Design Museum?」青木敦子、浅葉克己、鈴木恵千代、竹内誠、太刀川英輔、丹羽浩之、信藤洋二(進行:

洪恒夫)

来場者数:892名

■デザインミュージアム in AXIS

デザインミュージアムセレクションからテーマに応じて常設展示を実施した。昨年度のテーマは「器」であった。

期間:2022年4月～2023年3月(4カ月毎に年3回)

場所:JIDAギャラリー (AXISビル4F)

■CGアーカイブの試作

世の中のDX推進の取り組みに寄与するため、セレクションのCGアーカイブ化をテストし始めた。2022年4月から6月にかけてアーカイブの一部をCADデータにした。研究用サイトを仮設し、どのような工程が必要かおむね検討した。

デザインミュージアム支援会

継続したミュージアム運営を行う為に「JIDAデザインミュージアム支援金」参加のお願いを配信し、活動に賛同を頂ける方々からの支援金を募る。本年度も多くの企業、個人会員の皆さまよりご支援を頂きましたこと御礼を申し上げます。



デザインミュージアム in AXIS



街中まるごとーデザインミュージアム



調査・研究事業

担当理事
松本有



社会課題研究委員会委員長
中原 俊三郎



社会課題研究委員会

委員会では、国立研究開発法人 産業技術総合研究所や東京消防庁、NPO法人 Safe Kids Japanと共同で、最近の事故事例や分析の報告をもとに事故予防を考える「傷害予防のためのデータ活用に関する検討委員会」を6回開催した。そこでは日常生活における子どもや高齢者の傷害情報を共有し、さまざまな問題に取り組むプロジェクトを立ち上げて、社会実装へと繋げようとした。これらの多岐にわたるデザイン研究活動を通して、社会貢献の推進に取り組んでいる。

1. 傷害予防教育のための生活空間3Dモデルの開発

産業技術総合研究所 人工知能研究センターが重点課題として、安全な環境インタラクションを支援する「保護者向けの傷害予防教育ツール」のソフト開発に取り組んでおり、その基盤フレームとなる集合住宅、戸建て住宅、日本家屋の3タイプの3Dモデルデータを作成した。



1. 傷害予防教育のための生活空間3Dモデルの開発



2. 生活空間に溶け込んだ身体保持機能の研究



3. 高齢者向け支持機能付きテーブルの研究

2. 生活空間に溶け込んだ身体保持機能の研究

高齢者がバランスを崩した場合に姿勢を保持するための環境づくりとして、産業技術総合研究所の研究施設リビングラボに設置されている家具や壁などに、身体保持機能を持たせたコンセプトの生活空間を創出するデザイン研究に取り組んだ。

3. 高齢者向け支持機能付きテーブルの研究

高齢者が、椅子から立ち上がる時や周辺通過時に、姿勢保持の機能を有するテーブルの在り方を研究し、川崎市が推進する高齢者福祉事業の川崎市福祉製品等開発支援補助金を活用して、社会実装に向けたデザイン研究・開発を行った。



2. 生活空間に溶け込んだ身体保持機能の研究

調査・研究事業

素材加工研究委員会委員長
中島 修



プロフェッション委員会委員長
吉田 晃永



素材加工研究委員会

インダストリアルデザインの現場で役立つ質の高い情報とツールの提供による社会貢献を目的として、2つの活動を中心に行った。1.デザインを行なう為のツールとして、樹脂や金属素材などの表面加工や塗装処理などのサンプル集「JIDA STANDARD SAMPLES」等の企画・開発および普及活動。2.素材や加工技術に関する勉強会や見学会を企画して、日本の優れたサプライヤーから技術情報やデザインツールなどを学ぶ勉強会を開催した。2022年度は、サンプル帳、キッズデザインツール共に頒布を広げた。特に今年度は新刊の木のサンプル帳『JIDA STANDARD SAMPLES 6<WOOD>』を出版し好評である。さらに、第100回を数えた勉強会では、ハイブリッドセミナー形式に加え、現地での見学会を含め計3回の勉強会を開催することが出来た。

1. STANDARD SAMPLES等

JIDA STANDARD SAMPLES の頒布 全128冊
「1」:21冊、「2」:15冊、「3」:7冊、「4A」:23冊、「4B」:18冊、「6」:44冊。
KIDS DESIGN TOOLS の頒布 全10セット
子どものからだ図鑑:4冊、子どものからだパステータ集:4冊、2.5Dキッズパーツ:1セット、2Dキッズモデル:1セット。

2. 勉強会

■第98回勉強会

JIDA Standard Samples 6<WOOD> 発売記念
講演「人に優しく温かく!心を癒す木材の魅力」
発表者:東京都立産業技術大学院大学 助教 中島 修氏
開催日:2022年6月17日 場所:JIDAギャラリー / オンライン (ハイブリッドセミナー形式)
参加者:20名 (会場参加6名、オンライン参加14名)

■第99回勉強会

「あっ!こんなところにもファスナーが!」
発表者:YKK株式会社 商品戦略部 商品企画推進室 プロダクトデザインT 中山 栄治氏、中村 ゆか子氏、テクノロジー・イノベーションセンター資源循環・プロセスG 水林 舞氏、関 麻樹氏
開催日:2022年10月28日 場所:YKK黒部事業所・YKKセンターパーク (現地開催)
参加者:16名 (会場参加のみ)

■第100回勉強会

「キャストのアレコレ、「コロコロ動かす」選定ポイント」
発表者:テンテキャスター株式会社 寺西 悦一氏、渡邊 裕太氏、境 秀也氏
開催日:2022年12月23日
場所:JIDAギャラリー / オンライン (ハイブリッドセミナー形式)
参加者:16名 (会場参加6名、オンライン参加10名)

プロフェッション委員会

インダストリアルデザインが広く日本の産業社会で活用出来る為、定期的に委員会を開催し、また日本弁理士会意匠部会と連携した共同研究会、D-8 (デザイン8団体) 保護研究会との共同研究などを行った。

1. 日本弁理士会意匠部会との共同研究会

■共同公開イベント実施
デザインインフラ研究での新たにロイヤルティ契約書雛形が完成に伴う公開イベント
①「デザインロイヤルティ契約のきほん」～販売数に比例した報酬の方法～
開催日:2022年8月5日 場所:JIDAギャラリー / オンライン (ハイブリッドセミナー形式)
・日本弁理士会意匠部会 代表 青木 寛史弁理士による契約書概要
・ロイヤルティ契約事例5社
参加者:70名

②「デザイナーと手を取り合う知財活用戦略」～デザインロイヤルティ契約のすすめ～
開催日:2022年 場所:東京ビッグサイト Tokyo Pack 2022に於けるセミナー
講師:青木 寛史弁理士、松本 有理事との日本弁理士会共同研究会関連の共同セミナー
参加者:約100名

■共同研究会

年度内に5回開催。内プチセミナーを4回開催した。
第1回:2022年7月8日:ロイヤルティ契約書公開イベントや年間計画
第2回:9月9日:「展示会出展の落とし穴」(新規性喪失を中心とした内容) JPAA 石井弁理士、「クラウドファンディングの成功事例」JIDA 鉢呂 文秀氏
第3回:11月11日:「意匠審査における類否判断」JPAA 木村弁理士、「デザイナーの仕事」JIDA 井上和世氏
第4回:2023年1月13日:「デザイナーが知っておくべき商標登録のポイント」JPAA 青木 寛史弁理士、「デザインの現場」JIDA 武者 康平氏
第5回:3月10日:「意匠登録申請におけるポイント」JPAA 羽鳥弁理士、「イベント・展示会の企画・運営・ブランディング」JIDA 吉田 晃永氏

2. プロフェッション定期委員会

以下のように委員が委員会に参加し、イベント実施や研究会実施計画や情報交換、勉強会、研究会を行った。
第1回:2022年5月2日オンライン、第2回:7月6日ハイブリッド、第3回:9月30日ハイブリッド、第4回:2月2日 ハイブリッド
同時開催セミナー:「デザイン・知財関連補助金の紹介と採択率UPの技」中小企業診断士 須藤 慎氏
場所:ハイブリッド開催の会場は3回全てDMM. make AKIBAを使用

3. D-8 権利保護研究会

「D8デザイナーアンケート」の回答や分析結果が共有された。
D-8各団体別による、著作権や産業財産権など特色別の知的財産権周辺の動向、契約、問題などの情報交換が行われた。

4. 展示会

第7回パッケージデザインパビリオン in TOKYO PACK
開催日:10月12~14日 場所:東京ビッグサイト
パッケージデザインパビリオン企画運営受託事業に於いて当委員会と東日本ブロックと共同にて運営を行なった。プロフェッション委員会はJIDAブース、弁理士会展示エリアの展示設営やサポートなどを実施した。

5. 連携、委託

・新潟医工連携プロジェクト 参加希望者と現地との計画擦り合わせを行った。
・東京都中小企業振興公社発行の「デザイン活用ガイド・令和5年版」改訂作業の受託。

6. 相談対応

会員の弁理士による知的財産無料相談「DPホットライン」を実施。メールと電話による相談を行った。

JIDA STANDARD SAMPLES

1 樹脂の素材と表面処理-1

2 樹脂の素材と表面処理-2

4A アルミニウムの基礎的表面処理

4B アルミニウムの応用的表面処理

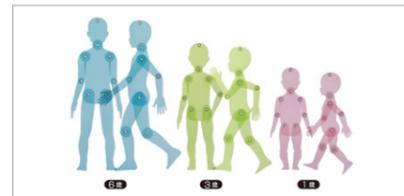
6 木のサンプル帳

デザインの**実践**で使える
サンプル帳

STANDARD SAMPLES



子どものからだ図鑑



2Dキッズモデル



第99回勉強会「あっ!こんなところにもファスナーが!」



第100回勉強会「キャストのアレコレ、「コロコロ動かす」選定ポイント」

3つの研究カテゴリー

- ビジネスインフラ研究: 契約書などの研究と標準化支援、ロイヤルティ、知財実務などの契約書など
- ビジネスモデル研究: デザインビジネス情報発信、デザインビジネスの成功事例を収集分析し、情報共有と実証を行い新デザインモデル情報の共有と発信をセミナーなどを通じて行う
- 職能基準研究 (職能レベル): デザイン+IT、IoT、AI、プログラミングなどデザインに活用出来る能力の研究、東日本ブロック デザインビジネス研究会共同研究との連携

「デザインロイヤルティ契約のきほん」～販売数に比例した報酬の方法～
2022年 8月5日(金) 18:00~20:45
ロイヤルティ契約書 販売数×〇〇%

「デザイナーと手を取り合う知財活用戦略」～デザインロイヤルティ契約のすすめ～
2022年 10月12日(水) TOKYO PACK2022
ロイヤルティ契約書 販売数×〇〇%

デザイナー向けセミナー / 一般利用者向けセミナー



デザイン活用ガイド・令和5年版



プロフェッション委員会 (ハイブリッド)

交流事業



インハウス委員会

若手インハウスデザイナー会員同士の交流を促進するため、堀田委員長以下、7名のインハウス委員(キヤノン株式会社、コクヨ株式会社、ダイハツ工業株式会社、株式会社ツールズインターナショナル、日産自動車株式会社、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社、ヤマハ発動機株式会社)を選出。インハウスデザイナーが“今”と“これから”を語るウェビナー企画を検討・実施した。

■JIDA 70周年記念事業—高度デザイン人材になってデザイン経営を実現しよう
～「DXDキャンプ」に触れる3日間～
Day 1: 2022年12月6日「ビジネスデザイン」クロストーク:富士通(株)
Day 2: 2023年1月31日「トレンドとその読み解き」クロストーク:日本電気(株)
Day 3: 2023年3月9日「デザイン思考」クロストーク: NECソリューションイノベータ(株)
事業概要: エンジニアやデザイナーなど、専門性を持つプロフェッショナルを対象に設計された「DXD キャンプ」を(株)トリニティの後援により紹介。登壇者によるクロストークでプログラムを活用した企業事例が紹介され、テーマ別に3回実施した。
実施: ZOOMオンライン

■インハウスデザイナーが“今”と“これから”を語るウェビナー「プロダクトデザイナー、CMFデザイナーのリアル」
Day 1: 2023年2月16日「インハウスデザイナーが取り組むサステナビリティ」
Day 2: 2023年2月20日「インハウス CMFデザイナーのリアル」
事業概要: 日産・ダイハツ・マツダ・日立製作所、FNCTによるプレゼンテーションと登壇者によるパネルディスカッションを実施。
実施: ZOOMオンライン

■JIDA 70周年記念事業—手描きアイデア・スケッチによるデザインワークショップ
開催日: 2022年12月19日
事業概要: 伊藤邦久氏による「手描きアイデア・スケッチによるデザインワークショップ」およびアメリカの最新EVデザイン情報、デトロイトのカーデザイン教育事例(モビリティ、ロボット・デリバリーデザイン)を紹介。
実施: AXISギャラリー

■欧州カーデザイン 2022—「伊・トリノ IAAD 最新デザインおよび教育動向・夏季研修プロジェクト報告会」
開催日: 2022年4月8日
事業概要: 夏季研修参加の6社若手デザイナーによるプレゼンテーションと井上教授のレクチャー。英Climate Groupの依頼で纏めた「なぜEVが必要か—ハイブリッド全盛の日本への警鐘」、IAAD SUMMER WORKSHOP 2021 報告、IEDと仏ALPINE社のコラボプロジェクトによる1/1サイズモデル制作とデザインプロセスを紹介。
実施: ZOOMオンライン

■第35期 JIDA インハウス 女性デザイナー研究会報告
開催日: 2023年3月15日
事業概要: テーマ「これからのちょうどいいデザイン」。GOOD DESIGN賞や女性キャリアデザインなど様々なトピックで「ちょうどいい」を見つける過程で考案した、ディスカッションを活性化させるためのデジタルグラフィックレコーディングツールの手法を紹介。
実施: ZOOMオンライン

渉外委員会
国内・国際連携を通じ日本のデザインの価値向上への寄与を目指し活動
【国内・国際連携事業】
コロナ禍の影響で延期となった海外でのセミナーはオンライン開催、デザインフォーラムへの講演者派遣は事前録画での登壇となるなどの新しい方式も定着。
日本のデザインやデザイナーに対するリスペクトを背景にした海外デザイン団体や企業からの要請は更なるネットワーク拡大へ繋がっており、日本のデザイナーの海外進出に向けた支援は協会の重要なミッションのひとつであり今後の課題でもある。

■Asia Design Assembly(ADA) 代表者会議と ISDWチューター会議(オンライン)
日本(JIDA)、韓国(Kaid)、台湾(CIDA)の3カ国デザイン団体でADAを構成。各代表によるオンライン会議に参画し主要行事である国際デザイン学生ワークショップ(ISDW)2022に向けた企画をメインテーマにディスカッションを重ねる。前年同様オンライン開催(8月3日~8月12日)されたイベントの完遂に向けて、前年主催した経験を活かしながら今年度主催者のkaidをサポートしつつ、3カ国10名のtutorを含めたオンラインミーティングへも参加。
代表者会議: 2022年4月27日、8月12日
チューター会議: 2022年6月15日、6月29日、7月20日

高度デザイン人材になってデザイン経営を実現しよう

上:手描きアイデア・スケッチによるデザインワークショップ、下:欧州カーデザイン 2022



インハウスデザイナーが“今”と“これから”を語るウェビナー

第35期 JIDA インハウス女性デザイナー研究会報告

交流事業

■CHINAPLASでのビデオ登壇の企画・監修事業
(2022年12月22日～2023年4月19日)

3年ぶりに深圳で開催された中国最大級のプラスチック&ゴム素材関連の展示会に向けたビデオ登壇協力。デザインによって素材産業も変化できることを示すとともに、日本の優れたデザイン力のアピールが目的。広報委員会との共同受託事業であり、展示会イベントの一つ「Design x Innovation」における登壇者の決定から全体調整、ビデオ撮影と編集までを行った。

東芝とサムソンでデザイナーとして勤務のあとフリーランスで活躍されている米田充彦氏にプラスチック素材に限らず材料とデザインの関係、およびこれからの素材とデザインについてご自身の経験をもとにしたプラスチック業界への提言を依頼。日本人デザイナーとして唯一の参加となったが、ビデオ登壇並びに引き続きリアルタイムで行われたオンラインディスカッションにおいても高い評価を得た。テーマ:「Future Society and CMF Design」
登壇者:米田 充彦氏 (AYD / Atsuhiko Yoneda Design代表)



CHINAPLAS

■WDO (World Design Organization) 連携
WIDD (World Industrial Design Day) フォーラムイベント (2022年6月29日 オンライン)

WDO、JDPとの連携で国際インダストリアルデザイナーのオンラインイベントを支援。「未来のモノ語りしてみよう」というテーマで行われたデザイン・ダイアログには9名の大学生と聞き手として豊田自動織機デザインGから薬師忠幸GMに参加いただき実施。学生にとって企業デザイン部門のトップとの対談はこれからのデザインについて考える大変貴重な機会となった。広報と連携してJIDA会員への告知も行う。

■WIDC /
World Industrial Design Conference 2022

2016年にCIDAを中心として発足し、JIDAも例年参加している中国山東省煙台市で開催された表記会議の開会式に向け田中一雄特別顧問のメッセージビデオを送った。



WDO 連携 WIDD フォーラムイベント

■WDA / World Design Assembly 2023

2023年10月に東京で開催予定のWDO主催のWDA2023に向けて、イベント全体の実行計画を推進するための企画、運営、広報部会に対してJIDAからの積極的な人的支援を多角的に展開中。

■CJIDC (中日工業設計中心) との連携事業

中国蘇州市政府の委託を受けた中日工業設計中心からの依頼により、JIDA公益6事業の範囲で中国での日本デザインのアピールをはじめ、各種情報の共有、プロモーション協力、デザイン教育連携等を通じて関係構築の発展を目的とする。両者の協力関係構築に向けたMOUを締結し、日中合同でのデザインコンテストの支援と蘇州における日本デザイン展示会を始め1～5フェーズで構成し計画案を策定。フェーズ1としてミュージアム委員会と連携し日中デザインコンテスト、日本デザイン展示会に向けた準備を推進した。



CJIDCとの連携事業



セミナー他事業

70周年委員会
JIDA 70周年記念式典の開催を中心に、通年でイベントを開催

- ・JIDA創立70周年記念式典
 - ・70周年記念式典第一部 フォーラム
 - ・70周年記念式典第二部 表彰授与式
 - ・70周年記念デザインミュージアム展
- 詳細は本誌P5に掲載。

■70周年記念式典 第一部
フォーラム1 明日をひらくデザイン
～持続可能性をデザインから考える～
フォーラム2 デザインが日本を変える
～これからの日本のデザイン政策と戦略～
主催:70周年委員会
場所:AXISギャラリー
開催日時:2022年11月22日(火) 13:00～17:00

■70周年記念 リレーセミナー<全10回>
協会内外に向けて最新情報を発信することと今必要な情報を発信するセミナーを実施。各ブロック、各委員会とのリレー形式による一体感をもって新ビジョンを発信することができた。全リレーイベントの参加者合計:1,463名。

1. 新たな“あたりまえ”をつくるデザインのヒミツ
主催:70周年委員会
開催日時:2022年5月12日 19:00～21:00
場所:オンライン
参加者:310名
共催:株式会社ビビビット
登壇者:株式会社バッファロー 青戸 雅菜、レノボ・ジャパンLLC. 大和研究所 池上 響、パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社 高橋 岳人、三菱電機株式会社 統合デザイン研究所 古畑 直紀、バルミューダ株式会社 松藤 恭平
司会進行:JIDA理事 70周年委員長 小幡 真也
私たちがよく目にする身近な商品を事例に、企業における若手デザイナーの具体的なデザインワークによる、新たな“あたりまえ”をつくるデザインのヒミツを通じて、デザイン活動の紹介を行った。

2. デザインと漫画の領域を超えて
- 漫画家かっぴー講演会 -
主催:東日本ブロック

開催日時:2022年5月29日 15:30～17:00
場所:AXISギャラリー /ハイブリッド
参加者:110名

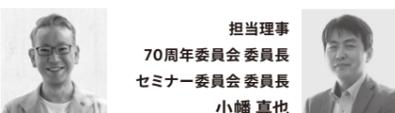
3. 老舗企業にイノベーションを生んだ、チームとデザイン
主催:中部ブロック
開催日時:2022年6月12日 15:00～17:00
場所:AXISギャラリー /ハイブリッド
参加者:30名

4. ONE DAY DESIGN ACADEMY
主催:関西ブロック
開催日時:2022年8月11日 10:00～16:30
場所:大阪中之島美術館 ホール
参加者:150名

5. デザインの“実践知”が聴けるセミナー
「実際どんなプロセスでデザインしているか、今からお見せします」
主催:70周年委員会
開催日時:2022年9月11日 17:40～19:00
場所:オンライン
参加者:720名
共催:株式会社ビビビット
登壇者:パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社 高橋 岳人、株式会社 バッファロー 守田 義教、ダイキン工業株式会社 真木 孝明、ソニーグループ株式会社 大西 民恵
司会進行:JIDA理事 70周年委員長 小幡 真也
商品開発におけるデザインの活動をわかりやすく伝えるため、商品づくりの工程とデザイナーに照準をあてて、企業の中でどのようなデザイン活動が行われているか、どのような思いで開発に対応しているかなど、今のデザインを紹介した。

6. ひろでんを知ってますか?
主催:西日本ブロック
開催日時:2023年2月24日(金) 16:00～18:00
開催場所:株式会社GKデザイン総研広島 会議室
オンライン
参加者:15名

7. デザインで拓く、北陸の心豊かな未来
～地方から発信する新しい可能性～
主催:北陸ブロック



担当理事
ブロック交流委員会委員長
稲垣 揚平

8. JIDA素材加工研究委員会「第99回勉強会」
主催:素材加工研究委員会
開催日時:2022年10月28日(金) 13:00～16:00
場所:YKK黒部事業所・YKKセンターパーク(現地開催)
参加者:74名

9. 高度デザイン人材になってデザイン経営を実現しよう～「DXDキャンプ」に触れる3日間～
主催:インハウス委員会
協力:トリニティ株式会社 DXDキャンプ事務局
場所:オンライン
第1回:2022年12月6日(火) 参加者:31名
第2回:2023年1月31日(火) 参加者:23名
第3回:2023年3月9日(木) 参加者:23名

10. 手描きアイデア・スケッチによるデザインワークショップ
主催:インハウス委員会
開催日時:2022年12月19日(月) 16:00～20:00
(懇親会含む)
場所:AXISギャラリー
参加者:10名



あつまるデザナレ2022



10イベントで1,804名の方とつながった

セミナー他事業

70周年委員会では、2021年に委員会が立ち上がったから、70周年事業の企画・事業推進と並行して、記念誌・エッセイ集の編集を視野に入れて活動してきた。企画段階で、過去の周年記念誌や他団体の記念誌、40周年時に発刊されたエッセイ集「IDと私」などを参考にして、70周年事業のあるべき姿を模索しながら推進。その中で、やはりJIDA 70周年という歴史の重さを大切にしたいという思いが、委員会内でも日に日に増し、過去と未来を繋ぐ事業として記念事業を実施した。そして創立間もない頃からJIDAに所属されていた、先輩会員の皆様方の協力も得て、創立70周年記念誌とエッセイ集「デザインと私」を編集し、発刊するに至った。両誌ともに、委員会メンバーが中心となって、JIDA会員の方々に寄稿をお願いし、編集したため、所謂出版物ほどのクオリティではないかもしれないが、読めば読むほど共感を生む魅力的な冊子に仕上がった。ぜひ手に取って読んでいただきたい。

■70周年記念エッセイ集「デザインと私」

エッセイ集では、全てのJIDA会員にお声がけし、後世に残す“コトバ”として募った。その結果、83名ものJIDA会員の皆様から、大切な“コトバ”を頂いた。制限された文字数の中で、会員皆様の思いが1冊に凝縮された素晴らしいエッセイ集となった。普段はカタチで語ることの多いJIDA会員が、文字で語った、愛すべきナレッジ集となった。

■JIDA創立70周年記念誌

巻頭特集として70周年記念ミュージアム展で作成された、壮大なクロニクルを収めた。JIDAが創立した1950年代から2020年代まで10年刻みでのJIDAのあゆみを、会員の皆様の協力を得て編集。また、70周年事業として全国で開催した事業も、未来への糧として編集した。208頁に及ぶ70周年にふさわしい記念誌になった。

セミナー委員会

セミナーは、インダストリアルデザインの普及啓発と人材育成のために重要な手段と位置づけ、各委員会横断型で広報とも連携した情報発信を推進し、スケジュールの重複回避や有効な集客アプローチを展開してきた。70周年記念事業関連セミナー以外にも下記のセミナーをフォローアップしてきた。今後は参加者リストをJIDAとして共有しPeatixなども活用し、発信力を高めていく。

- 1) 第35期報告会 JIDA インハウス女性デザイナー研究会報告セミナー
- 2) 欧州カーデザイン2021「トリノ最新デザインおよび教育動向・夏季研修プロジェクト報告会」
- 3) 第98回勉強会「人に優しく温かく!心を癒す効果のある木材の魅力」
- 4) 第100回勉強会 キャスターのアレコレ、「コロコロ動かす」選定ポイント
- 5) プロダクトデザイナー、CMFデザイナーのリアル(インハウス委員会)
- 6) デザインビジネスセミナー「補助金を上手に活かそう!活用・申請のポイントを学ぶ」
- 7) TASK2022 都内4区による中小企業支援事業で、デザイン活用セミナー



第98回勉強会「人に優しく温かく!心を癒す木材の魅力」(Instagram画像)

ブロック交流委員会

2022年度ブロック交流委員会では、前年度までのブロック長も含むメンバーで構成された70周年委員会の定期ミーティングとは別に、ブロック運営についてしっかり議論できる委員会として、別途開催することでスタートした。ブロック活動を通じて見えてくる課題などを、ブロック長間で共有し、必要に応じて理事会への上申も行い、全国組織としてのJIDAの活動基盤となった。

■第1回ブロック交流委員会

開催日時:2022年5月11日 19:00 ~ 20:00

参加者:西日本/彌中ブロック長・北陸/池田ブロック長・東日本/高橋ブロック長・関西/江口ブロック長・小幡・稲垣

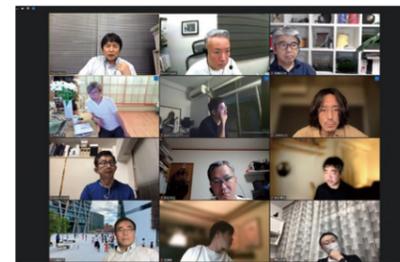
■第2回ブロック交流委員会

開催日時:2022年6月27日 19:00 ~ 20:30

参加者:東日本/高橋ブロック長・佐野副ブロック長・中部/野口ブロック長・後藤副ブロック長・北陸/池田ブロック長・内田副ブロック長・根来副ブロック長・関西/江口ブロック長・竹綱副ブロック長・西日本/彌中ブロック長・小幡・稲垣

■第3回ブロック交流委員会(2日間分割開催)

開催日時:2022年9月12日 19:00 ~ 20:00



第2回ブロック交流委員会



第6回ブロック交流委員会

参加者:中部/後藤副ブロック長・西日本/彌中ブロック長・小幡・稲垣

開催日時:2022年9月13日 19:00 ~ 20:00

参加者:北陸/池田ブロック長・東日本/佐野副ブロック長・小幡・稲垣

■第4回ブロック交流委員会

開催日時:2022年11月28日 19:30 ~ 20:00

参加者:東日本/高橋ブロック長・佐野副ブロック長・中部/野口ブロック長・後藤副ブロック長・北陸/池田ブロック長・内田副ブロック長・関西/江口ブロック長・西日本/彌中ブロック長・芝広報担当理事・堀内70周年委員・小幡・稲垣

■第5回ブロック交流委員会

開催日時:2022年12月16日 19:00 ~ 20:30

参加者:東日本/高橋ブロック長・佐野副ブロック長・中部/野口ブロック長・北陸/池田ブロック長・関西/江口ブロック長・竹綱副ブロック長・小幡・稲垣

■第6回ブロック交流委員会

開催日時:2023年1月13日 19:00 ~ 20:30

参加者:東日本/高橋ブロック長・佐野副ブロック長・中部/野口ブロック長・北陸/池田ブロック長・関西/江口ブロック長・西日本/彌中ブロック長・小幡・稲垣

■MEDTEC Japan 2022

開催日時:2022年4月20日~22日

開催会場:東京ビッグサイト 東ホール

出展社数:11社+JIDA 4委員会

全出展社数:292社(主催者発表値)

期間来場者数:11,917名(主催者発表値)

2021年に初出展し、今回2回目の出展となった国際医療機器展Medtecに出展した。昨年の初出展時は、新型コロナウイルスの感染拡大の中での、ギリギリとした環境での初出展となり、来場者数も非常に少ない出展状況だったが、今年度は主催者のご厚意もあり、大幅に展示スペースを増やし、JIDA 70周年の特別企画展示として、JIDAを紹介するパネル展示を併設で行い、新型コロナウイルスも少しずつ落ち着き出したこともあり、大幅に来場者数も増加した。

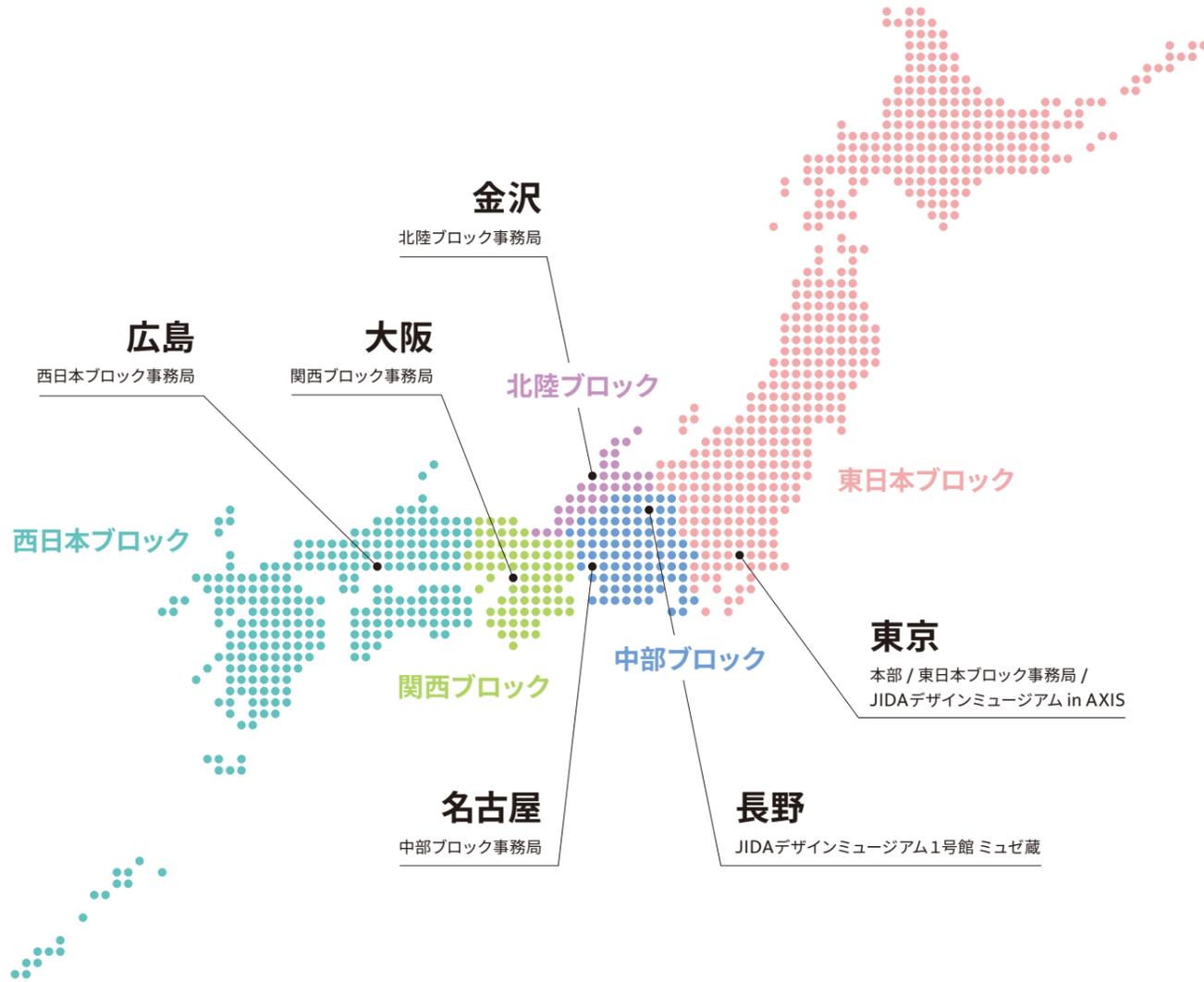
資格検定委員会・素材加工研究委員会・社会課題研究委員会・プロフェッション委員会の4委員会では、事業の紹介として詳細なパネル展示も実施し、JIDA活動を医療関係者や医療メーカーなどに広く認知頂くきっかけづくりとなった。

また、この展示を機に出展された会員から、JIDA内に医療関係の集まりが作れないか?との意見もあり、後の専門部会の検討に繋がった。



6 事業横断活動

活動ブロック図



全国	正会員(個人)	499人	東日本	正会員(個人)	310人	関西	正会員(個人)	96人
	正会員(団体)	16団体		正会員(団体)	11団体		正会員(団体)	2団体
	賛助会員(個人)	17人		賛助会員(個人)	9人		賛助会員(個人)	2人
	賛助会員(団体)	68団体		賛助会員(団体)	46団体		賛助会員(団体)	5団体
	学生会員	18人		学生会員	14人		学生会員	4人
			中部	正会員(個人)	52人	西日本	正会員(個人)	22人
				正会員(団体)	2団体		賛助会員(個人)	1人
				賛助会員(団体)	15		賛助会員(団体)	2団体
			北陸	正会員(個人)	16人	海外	正会員(個人)	3人
				正会員(団体)	1団体		賛助会員(個人)	1人
				賛助会員(個人)	4人			

2023年3月31日現在

ブロック活動

東日本ブロック

JIDA全体としても大きな節目を迎えた今年、70周年というものはブロックの中でも大きなブーストへと繋がることとなった。特に各ブロックの先陣を切って行った70周年記念イベント「デザインと漫画の領域を越えて-かっぴー講演会-」はJIDAという団体に新たなベクトルの可能性をもたらしてくれた。また首都圏での活動が中心だった東日本ブロックが過疎地域に指定された茨城県行方市とデザインを通じたワークショップやキャンプを開催することになり、地方活性化へ向けた新たなタッチポイントを得たことは大きな意味を持つ。今後、次の10年、80周年を迎えた時、振り返った際にあの時の70周年が大きな一歩となっていた、となることを信じてやまない。

■デザインと漫画の領域を越えて-かっぴー講演会-
 担当:高橋翼
 日時:2022年5月29日(日)
 場所:AXISギャラリー
 参加人数:110名(対面30名、オンライン80名)
 ドラマ化やアニメ化も控える漫画「左ききのエレン」の作者であるかっぴー氏を招いての70周年事業特別講演会。「デザインと漫画の領域を越えて」とい

うテーマのもと漫画から製品化されたアパレルやプロダクトについての制作秘話、また漫画という媒体をいかに上手く活かしながらメディアを巻き込み展開していくか話をユーモアも交えながら頂いた。クリエイティブという仕事への未来、NFTなどの今後の新たな可能性にも話は及び、JIDAとしての領域も広げる講演会となった。

■行方プロジェクト
 過疎地域の指定を受けた茨城県行方市とJIDA東日本ブロックが連携し、デザインによる地域活性化に取り組んだ。市内には廃校小学校をはじめ多くの遊休施設があり、その再活用はデザインによる社会課題解決のテーマとなり得る。また東関東自動車道の延伸(2025年ごろを予定)により、市内にハイウェイオアシスが設置される予定であり、豊かな農水産物や特産品をデザインする機会もできそう。ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の休憩地点としての適性も高く、デザインを活用した新たな魅力の創出と発展も期待できる。これまで以下のような様々な活動をおこなってきたが、今後も機会をとりえて、六本木から“デザインの風”を送り続けていきたい。

- 1) 行方市×JIDA デザインワークショップ
 (茨城新聞(6月14日)に掲載)
 日時:2022年6月4日(土)
 場所:天王崎観光交流センター「コテラス」
 参加者:JIDAより6名、行方市民(親子)約100名
 ワークショップ:①クッションでエコデザイン体験、②端材とネジを使ったキーホルダー制作、③電車デザイナー体験
- 2) JIDA東日本ブロックデー with なめキャン
 日時:2022年10月29日(日)~30日(月)
 場所:天王崎公園
 参加者:JIDA会員と家族、友人 19名
 ワークショップ:なめキャン参加者対象 21名
- 3) 「廃校に風を Namegata フェス&マルシェ in 北浦の丘」へのJIDAショップ出店
 日時:2023年2月12日(日)
 場所:旧三育中学校
 来場者:5,000人以上
 参加者:JIDA会員デザイン商品展示販売 9社/現地参加者 16名



デザインと漫画の領域を越えて-かっぴー講演会-



東日本ブロック

デザインビジネス研究会

2022年度の活動について、TASK事業の受託と、セミナー勉強会の実施、メンバーの対面交流・懇親の3つを行った。

1. TASK事業

担当デザイナー：北村 洋一氏・三津井 宏氏・下江 廣満氏・井上 和世氏・忠嶋 肇氏 / 坂野 博行氏

台東区・足立区・荒川区・葛飾区の4区に登記・所在する事業社5社に、6社のデザイナーがデザインアドバイスをを行った。

一昨年から、デザインテーマへのデザインの助言に加えて、商流への売込み機会として各区の商談会や店舗販売のイベントへ参加する機会を設けることが加わり、事業社が販路への商機を具体的に持てる形になった。

通常は単年度の実施となる行政の事業だが、複数年度の応募についても制限なく参加できることで、担当デザイナーを計画的に割り当てることが可能で、連続性のあるアドバイスをを行った。

各担当デザイナーのスキル経験に応じて様々なアプローチで、事業予算に甘んじない幅広く深いアドバイスに取り組んで頂いた。本年度は、各区の担当をお招きして、担当デザイナーから活動報告を行いデザイナーの取り組みについて高く評価頂いた。

なおき工房：パンダのペーパークラフトを担当。台東区産業フェア・上野アトレ店舗販売/ポップアップショップにマスクカバー、パンダお面などを量産プロトタイプとして、商談および店舗販売を行った。(北村氏)

インジェクション工場/広沢プラスチック：3Dプリンターの導入による少量生産技術の導入についての助言を行った。(三津井氏)

ミユキ精工：「お箸をトング化する」製品。センサーライト式消臭ケース製品をアドバイス。台東区産業フェアで商談を行った。(下江氏)

2. セミナー勉強会

今年は、開発ビジネスの資金調達の見直しとして、補助金について(株)ツインエコ 早田氏をお招きして、補助金の採択精度の高い取り方や書類作成のポイントをご教示頂いた。

3. メンバーの対面交流

当会は、上述「1.」「2.」より、デザイン事務所の経営者間の情報交流が主題の研究会である。コロナ禍の制限で2年余り対面の交流が行えず、ビデオMTGを中心に定例会をおこなってきたが、世情の沈静化に伴って、対面交流を増やすように交流の形を正常化しはじめた。

■パッケージデザインパビリオン

開催日：2022年10月12日(水)～14日(金)
開催場所：東京ビッグサイト東6ホール
参加人数：26社 (JIDA、JPDA、JAGDA会員)
主催：日本包装技術協会
パビリオン運営：JIDA 東日本ブロック+JIDA プロフェッション委員会(弁理士会エリア)
協賛：JPDA、JAGDA、JBD、日本弁理士会
協力：日本デザイン団体協議会
共同運営：JIDA プロフェッション委員会(弁理士会エリア)

Tokyo Pack 2022 併催、第7回パッケージデザインパビリオンの企画運営を今回もプロフェッション委員会と共同で行った。コロナ禍の影響が薄くなってきた時期という事もあり、前回のパビリオンよりも、かなり多くの来場者があった。特に今までも増して環境対策へのニーズが高くなっていると感じられ、デザインに期待される役割もそこに期待されている声も多く聞かれた。パビリオン内にはJIDA 70周年のパネル展示ブース(3x6m)も設置され、その隣には日本弁理士会ブース(プロフェッション委員会担当)も置かれた。2010年からの発足より今回で第7回を迎えたが、コロナ禍の明けを感じる回であった。主催者であり、当パビリオンの委託社の(公社)日本包装技術協会の皆様のご努力であり敬意と感謝を申し上げたい。次回の運営も委託予定とのこと。

エコデザイン研究会

東日本ブロックエコデザイン研究会は2022年12月、19回目の「NextEcoDesign2022」展を開催した。NextEcoDesign展は<次世代のエコデザイン>を通して、デザインを学ぶ学生とプロのデザイナー(JIDA正会員)が協働した作品を紹介するもの。学生とともにワークショップを通して、暮らしを見直し環境に配慮する「未来をつくるデザイン」として様々なエコデザインに取り組み、自然エネルギー・社会システム・インテリアプロダクト・家電・輸送機器等様々なエコデザインのコンセプトをその成果として、デザイナー作品とともに「サステナブルデザインの未来シナリオパネル」や「エコデザインの提案モデル」として展示した。

■NextEcoDesign2022

期間：2022年12月7日(水)～12月9日(金)
主催：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 東日本ブロック エコデザイン研究会
協力：日本経済新聞社、(公財)日本デザイン振興会、株式会社Too
協賛：株式会社Too 株式会社ユゴ・コーポレーション
後援：(公財)日本デザイン振興会、(公社)日本インテリアデザイナー協会、(公社)日本グラフィックデザイン協会、(公社)日本サインデザイン協会、(公社)日本ジュエリーデザイナー協会、(公社)日

本パッケージデザイン協会、(公社)日本建築家協会、(一社)日本空間デザイン協会

【出展者】
プロ出展者：JIDAエコデザイン研究会メンバー 11名(浅井治彦、石渡文一、クリストファー・カルテンバッハ、小林浩一、佐藤 徹、長谷川真之、福田一郎、本田圭吾、山崎和彦、中島修、神田剛)
学生：インダストリアルデザイン・プロダクトデザインを学ぶ関東地区の学生を中心に26名(稲川夏梨、王天伊、小川 寛、小貫まな、金居真凜、熊倉楓乃、神山颯汰、小杉英一、小室佳代、高橋 爽也斗、TSANG JACK、寺西佳穂、TU SHIXUAN、中村海斗、中村 駿、Parkyeawon、長谷川里奈、東島葵衣、古屋汐音、増田乃瑛、松村有起、松本浩太、三浦由依、山中海渡、横田爵巳、マリアヌ ブレイディ)
参加校：共立女子大学、桑沢デザイン研究所、芝浦工業大学、東京造形大学、東洋美術学校、日本大学芸術学部、日本大学芸術学部大学院、武蔵野美術大学、文化服装学院、明星大学、UAE ジャルジャアメリカン大学

参加学生から以下の学生の取り組みを評価し表彰した。
最優秀賞1名：小川 寛(桑沢デザイン研究所)
優秀賞2名：マリアヌ ブレイディ (UAEジャルジャアメリカン大学)、小室佳代(文化服装学院)
奨励賞6名：オウ・テンイ、小杉英一、ツァン・ジャック、ト・セキケン、山中海渡、小貫まな

■サステナブルデザイン&エコデザイン 基本セミナー

「サステナブルな社会を作る未来デザインシナリオ」
開催日：7月24日(日)
時間：13:00～17:00
場所：The Gallery Too (株式会社Too本社・虎ノ門)

■サステナブルデザイン&エコデザイン ワークショップ

テーマに基づいたグループリサーチ作業とサブテーマに基づいた各々のデザイン(シナリオ)提案制作を進め、アドバイス指導のデザイナーとともに、12月開催のNextEcoDesign展に向けたデザイン提案プレゼンテーションを実施した。

【エコデザインワークショップ】
開催日：8月15日(月)～17日(水) 3日間集中型
時間：10:00～17:00
場所：The Gallery Too (株式会社Too本社・虎ノ門)
対面集合の上、交流の機会を設定し、サブテーマに基づいたグループリサーチ作業とサブテーマに基づいた各々のデザイン(シナリオ)提案制作を進めた。

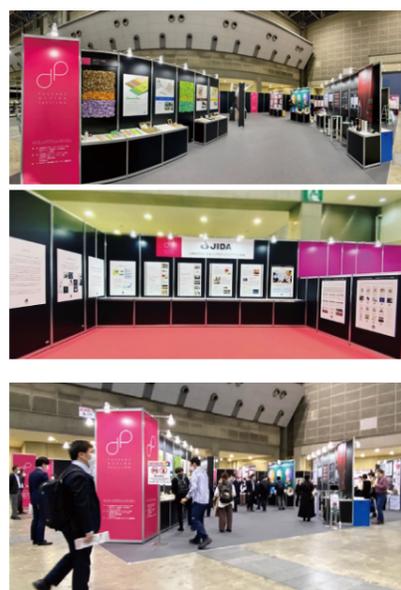
【ワークショップ中間プレゼンテーション】
提案制作進捗レビュー
開催日：9月25日(日)
時間：13:00～17:00
場所：インターナショナルリエゾンセンター(東京ミッドタウン・六本木)

【オンラインアドバイス】
サブテーマに基づいたグループリサーチとグループ間の情報共有を行いつつ、サブテーマに基づいた各々のデザイン提案制作を進めた。
場所：オンラインZoomを使用

【ワークショップ最終プレゼンテーション】
提案発表、出展者顔合わせ
開催日：11月13日(日)
時間：13:00～17:00
場所：インターナショナルリエゾンセンター(東京ミッドタウン・六本木)



TASK事業 - なおき工房：パンダのペーパークラフト



パッケージデザインパビリオン



東日本ブロック

■子どもデザインワークショップ

担当：高橋 翼、神瀬 泰二

日時：2022年8月20日（土）、21日（日）

場所：東京ミッドタウンデザインハブ

参加人数：親子50名

毎年恒例となっている夏休みに開催される「東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズ・ワークショップ」内で行った子どもデザインワークショップ。今回は従来の「木材を組み合わせた電車制作」に加え「ねじを使ったキーホルダー制作」の2つのワークショップを実施した。WEBでの募集が始まるとともにあっという間にチケットは完売。当日の会場はものづくり・デザインを楽しむ子どもたち、親たちの楽しい声で包まれ大好評の結果となった。



子どもデザインワークショップ

■電車ワークショップ in 八王子

担当：高橋 翼

日時：2022年11月6日（日）

場所：セレオ八王子

参加人数：親子27名

(株)JR中央線コミュニティデザインからの受託事業。JR八王子駅ビル「セレオ八王子」のイベントスペース内において親子を中心に木材を組み合わせ、色を塗り電車を作成するワークショップを行った。新しい試みとして最初に三面図を渡し、そこからイメージを膨らませて色を塗るなど本格的なアプローチから導入を行った。苦戦をしながらも、ものづくり・デザインの楽しさを感じてもらったイベントとなった。



■ブロックニュース復活（再配信）

担当：浅香 秋也

以前行われていた東日本ブロックニュースを改めて配信しようとお声がけ頂き、有志の協力を得ながら約1年間メール配信を継続しながら情報発信を行った。私自身JIDA正会員としての歴もそれほど長くなく当初編集長としての発信に自信があったわけではないが、皆様の協力はもちろん、こういったJIDAとの関わりが浅く少ない会員なりの観点などを通して似たような環境にある方々に何かしら届くものが作ればとの考えに至った。

内容についてのブラッシュアップを行っている最中ではあるが、研究会活動や新会員情報などリアルタイム性のある情報共有に加え、任意の会員にお願いしているコラムとしてこれまでのデザイン経験を体験に基づいた知見としてまとめられ蓄積していくことでレガシー／アーカイビングとしての価値も見出せるものとなっていくのではないかと期待している。ぜひ今後も皆様の経験の一部でも発信に協力頂けるようお願いしていきたい。

日々忙しくされている会員に対し負担になることない方向のメディアではあるが、JIDA活動の一部でも読み流せる気軽さを大事にしており、一方今後も内容改善を進め、具体的活動事例や関わってくれた会員個々について徐々にでも互いの興味関心にJIDAやその活動などに結びつくことを願っている。



東日本ブロックニュース

中部ブロック

中部ブロックブロック長
野口 大輔



2022年度はコロナ禍が一段落してリアルイベントが再開することができ、久しぶりに会員同士が顔を合わせられるようになった年であった。過去2年間にわたるオンラインイベントの増加により、ブロック間の壁が以前よりも低くなったことは大きな変化である。新型コロナは大きな災害だったが、これらのオンライン交流や繋がりは、次の時代への足掛かりとなることだろう。

■研究事業

JIDAの設立70周年でもあり、中部ブロックでは賛助会員の貝印が開発し、昨年JIDAのミュージアムセレクションで金賞を受賞した紙カミソリを取り上げ、東日本ブロックとの協力のもとで会場とオンラインを結びつけてトークイベントを開催した。質問も多く出て活発なディスカッションが行われた。

老舗企業にイノベーションを生んだ「紙カミソリ®」

主担当：野口 大輔

日時：2022年6月11日（土）15:00～17:00

会場：AXISギャラリー

登壇者：塩谷俊介（カインダストリーズ株式会社 研究開発本部 部長）、大塚 淳（貝印株式会社 デザイン部 次長）、野口大輔（株式会社COMULA 代表取締役）

参加者：30名



老舗企業にイノベーションを生んだ「紙カミソリ®」



卒業制作展訪問（名古屋学芸大学）

■交流事業

昨季コロナの影響で行えなかったデザイン講談を総会のメインイベントとして行った。

デザイン講談／賀詞交歓会

主担当：渡辺 俊生、池田 豊隆

「デザイン講談」

日時：2022年6月18日（土）15:00～16:30

会場：名古屋造形大学 名城キャンパス

登壇者：岩佐 泰樹

参加者：25名

「デザイン講談／新年会」

日時：2023年1月12日（土）17:00～

会場：下の一色 ニシキ店

登壇者：井関 徹

参加者：25名

■次世代事業

コロナの影響を強く受けた学生向けには、JIDA Student Selectionという新しい試みが始まった。次世代を担う学生同士の交流やJIDAと学生の接点を増やすことは、中部エリアのデザイン力を向上させる一助となるだろう。

40年以上続く卒業制作展訪問も今年はオンラインではなく全て現地へ赴いて行うことができた。

卒業制作展訪問

主担当：岡田 心

1981年より開催している卒業制作展訪問も八校に実際に訪問することができた。JIDA中部ブロックデザイン賞として、最優秀賞7名、優秀賞9名、特別賞7名を表彰した。（協賛：セントラル画材）

【日程】

・2023年1月21日（土）名古屋学芸大学

会場：愛知県美術館ギャラリー 8F

・2023年2月14日（火）名古屋造形大学

会場：名古屋造形大学・名城キャンパス

・2023年2月18日（土）名古屋芸術大学

会場：名古屋芸術大学・西キャンパス

・2023年2月18日（土）静岡文化芸術大学

会場：静岡文化芸術大学内

・2023年2月20日（月）名古屋デザイナー学院

会場：名古屋デザイナー学院内

・2023年2月26日（日）大同大学

会場：ナディアパーク・2Fイベントスペース

・2023年2月26日（日）名古屋市立大学

会場：名古屋市立大学・北千種キャンパス

・2023年3月5日（日）名古屋工業大学

会場：名古屋工業大学・4号館

JIDA Student Selection

主担当：影山 友章

開催日 2022年9月1日（木）

JIDA中部ブロック主催のJIDA Student Selection 2022の学生プレゼンテーションイベントが9月1日（木）Fabcafe Nagoyaにて開催されました。5つの大学10名の中から4名が優秀賞を受賞されました。金賞：久保田 将平 愛知県立芸術大学 銀賞：山本 菜奈 愛知県立芸術大学 銅賞：松井 洋樹 大同大学

Fabcafe Nagoya賞：川下 泰 静岡文化芸術大学 主催：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会・中部ブロック

共催：Fabcafe Nagoya

協力：株式会社Too名古屋支店



卒業制作展訪問 最優秀賞：遠山千聖さん（大同大学）

■受託事業

名古屋市工業試験場からの委託事業は、3年目を迎えた。この取り組みは地域産業との繋がりを強めると同時に、運営側としてはデザインに興味を持ってもらうための企画力を磨く良い機会となっている。

名古屋市工業研究所 Nagoya Musubu Tec Lab
プロダクトデザイン相談

主担当：堀田俊則

2022年4月27日

【ものづくり企業向けデザインセミナー】

「金属の加工とデザイン」

金属には加工方法が様々にあり、求める形や機能によって最適な加工方法は違ってくる。デザイナーがどのように金属の特徴を捉えて、加工方法を工夫しながらデザインしてきたのか紹介した。

講師：岡田心（大同大学 情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 教授）、小林和生（株式会社 ELEVENICE 代表）

参加者：21名

2022年10月19日

【ものづくり企業向けデザインセミナー】

「木材の加工とデザイン」

木材は工業製品として加工性や量産性が高く、それでいて自然の優しさを感じられる独特の素材である。家具のデザインに取り組んでこられた二人のデザイナーから、木材ならではの素材の活かし方やデザインへの展開について話した。

講師：鈴木光太（名古屋造形大学 空間作法領域 准教授）、高須博明（カリモク皆栄(株) マーケティング

グセセンター テクニカルデザイン部開発課テクニカルアドバイザー）

参加者：16名

2022年12月14日

【ものづくり企業×デザイン コラボ講演会】

「ものづくり企業が外部デザイナーからの OEM で見つけたもの」

ものづくり企業が持っている高い技術力は、難題を解決し新たな製品を生み出す原動力となることがある。老舗のものづくり企業とその技術力の新たな可能性を見出したデザイナーに、それぞれの立場からコラボレーションによる製品開発事例について話してもらった。

講師：白川 勝悟（ファーイーストガジェット 代表）、村瀬 靖人（株式会社村瀬執行取締役）、井戸田 和之（株式会社村瀬執行 課長代理・リーダー）

参加者：30名

2023年1月20日

【ものづくり企業向けデザインセミナー】

「3D プリンターを使った“商品“作り」

十年ほど前から 3D プリンターは一般にも認知されるようになったが、使用用途は製品開発での試作に使用されることがほとんどであった。しかし、ここ二年ほどで状況が変わり、売られているものと同等もしくはそれ以上のクオリティを備えたものが世の中に出始めている。その商品たちは 3D プリンターで従来の製品を置き換えただけのものではなく、3D プリンターだからこそできる提案であったり、意味が付加されていたりする。実際に 3D プリンターで商品を開発した経験のあるデザイナーに 3D プリンターで作る意味や面白さを話してもらった。

講師：江口 海里（株式会社江口海里スタジオ 代表）、水野 健一（有限会社 D-WEBER 代表取締役デザイナー）

参加者：15名

2023年2月14日

【ものづくり企業向けデザインセミナー】

「素材×技術のデザイン事例」

障害者就労支援施設と連携をとりながらデジタルファブリケーションを活用して開発を行ったフェルト素材の日用品「See Sew」をインクルーシブデザインの実践例として、名古屋仏壇の 技法を活用した商品や、超硬合金で作られた包丁など、素材を活かしてデザイナーが関わった最新の開発事例として紹介していただいた。

講師：本田 敬（愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン・工芸科 教授）、望月 未来（愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン・工芸科 講師）

参加者：15名

2023年2月14日

【ものづくり企業向けデザインセミナー】

「伝統的な素材に挑戦し、新しい素材は丁寧に扱う」

企業と大学が一緒にものづくりを行うプロジェクトの進め方について解説。また 3D プリンターに適した作り方を追求したプロジェクトについて、その特徴と苦労した点などを話した。

講師：舟橋 慶祐（大同大学 情報学部 情報デザイン学科 准教授）、若園 康行（大同大学 情報学研究科 在学）※JIDA 会員以外の登壇者

参加者：19名



JIDA Student Selection 金賞：久保田将平さん（愛知県立芸術大学）

北陸ブロック

北陸ブロックでは、地場産業とデザイン教育のトレンド発信を軸に活動を続けている。コロナ禍も落ち着きつつある2022年度は、大きな会場をお借りし、ビッグゲストをお招きしてのクロスセッションを開催。デザイン政策に上流からデザイナーが関わることの重要性や、北陸ならではの有形・無形の資産を価値化し、さらに成長していくためには、デザイン経営やデザイン思考がますます重要になると語られた。

また福井工業大学・金沢美術工芸大学・富山大学と、北陸三県にある各大学の卒業制作展を訪問し、学生も交えて意見交換を行った。これからも引き続き北陸の魅力を発見し、発信を続けたい。

■地場産業デザインのトレンド発信 — クロスセッション「デザインで拓く、北陸の心豊かな未来」

日時：2023年3月28日（火）18時～20時

参加人数：74名

場所：石川県立図書館 だんだん広場

ゲスト：西垣 淳子氏（石川県副知事）、桐山 登士樹氏（富山県総合デザインセンター所長）、新山 直広氏（TSUGI LLC.代表）

コーディネーター：内田 和美氏（富山大学芸術文化学部教授・JIDA北陸ブロック副ブロック長）
司会：稲垣 揚平氏（エイジデザイン株式会社 代表取締役・JIDA 理事）

石川県・富山県・福井県からデザイン政策に長けたビッグゲストをお呼びしたクロスセッションは、会場となった石川県立図書館 だんだん広場に平日の夕方という時間にもかかわらず、74名以上の方にご参加いただけるものとなった。

会社や組織にデザイン思考が取り入れられつつある中、地域としてのデザイン政策が無ければその広がりや可能性も限られてしまうという共通認識の共有に始まり、デザイナーがデザイン政策の上流から関わることの重要性や、北陸三県に既にある様々な産業や有形・無形の資産をしっかりと価値化し、さらに発展させていくためには、デザイン政策やデザイン思考がより重要になると語られた。

色や形で語られることが多かったデザインだけでなく、より広い意味での「広義のデザイン」に対して関心が高まっている中で、1つの方向性を示すトークセッションとなった。

北陸ブロックブロック長
池田 武史



■デザイン教育トレンド発信 — 卒業制作展見学会「福井工業大学卒業制作展」

参加人数：JIDAメンバー 10名 / 学生（非会員）約20名

日付：2023年2月10日（金）～12日（日）

場所：福井市美術館 アートラボふくい2階

「富山大学芸術文化学部卒業制作展」

参加人数：JIDAメンバー 7名

日付：2023年2月11日（土）～19日（日）

場所：高岡市美術館&高岡キャンパス

「金沢美術工芸大学卒業制作展」

参加人数：JIDAメンバー 10名 / 学生（非会員）約20名

日付：2023年2月23日（木）～3月1日（水）

場所：金沢21世紀美術館 市民ギャラリーほか

北陸3県を代表するデザイン教育を行っている大学である福井工業大学、金沢美術工芸大学、富山大学芸術文化学部の卒業制作展示会の見学会を開催した。各大学の学生達も交えて意見交換を行い、交流を深めた。



クロスセッション フライヤー



クロスセッション 会場の様子



卒業制作作品（福井工業大学）



卒業制作作品（金沢美術工芸大学）



関西ブロック

関西ブロックでは2021年度から「よりオープンなJIDAに。インダストリアルデザインを身近に。」をビジョンに掲げ、「一人ひとりがインダストリアルデザインを広く一般にまで伝え、その上で生活者と共にデザインを学びあえる場を創造し、感性を磨きながら暮らしを健やかにすると同時にデザインによる新しい文化を醸成するための準備を整える」というミッションを共有。2022年度のJIDA創立70周年に向けた記念事業ではそのミッションを具体化するイベントを企画し、コロナ禍にも関わらず多くの参加者を集め、熱い一日となった。

■デザインフォーラム

ONE DAY DESIGN ACADEMY KANSAI

リーダー：江口海里

概要：JIDA創立70周年記念事業として、関西ブロックでは学生や若手デザイナーに向けたデザインフォーラムを開催。コロナ禍にも関わらず100名超の来場者にご参加いただき、関係者を含めて150名、協賛企業14社という大きな事業となった。

開催日：2022年8月11日（木）10:00～16:30

開催場所：大阪中之島美術館 ホール

参加人数：100名(関係者全てで150名)

トークショープログラム及び登壇者

Session 01 10:20～11:10

「キャリアをスタートする若手に知って欲しい、デザインの世界」

講師：福定良佑 (FUKUSADA STUDIO)

Session 02 11:20～12:10

「新工芸—工芸的樹脂成形技法の追求—」

講師：三田地博史 (新工芸舎主宰)

Session 03 12:20～13:10

「モビリティの未来 (公共性とパーソナル性)」

皆川 悟 (ダイハツ工業) × JIDAメンバー

Session 04 13:20～14:10

「デザイン教育現場はどう変わっていくべきか？」

講師：北條崇 (京都芸術大学) × 是枝靖久 (大阪芸術大学) × 野村伸介 (京都精華大学)

Session 05 14:20～15:10

「スマートシティ OSAKA2025は、デザイン思考が創る」

講師：村田智明 (ハーズ実験デザイン研究所)

Session 06 15:20～16:10

「海外のデザインと日本のデザインの違い」

講師：喜多俊之 (喜多俊之デザイン研究所)

■SDGsとデザインチーム

リーダー：小野綾香

2022年8月11日に大阪中之島美術館 ホールで開催されたJIDA 70周年記念事業イベント「ONE DAY DESIGN ACADEMY KANSAI」の各セッションの講義内容をJIDA 70周年記念誌に掲載するために文書化。講義内容の文字起こし等、関西ブロック学生会員が協力した。

■デザインビジネスチーム

リーダー：岩田浩司

「デザイナー向けビジネス英会話勉強会～プレゼンテーション編～」

開催日：2022年12月21日（水）

開催場所：大阪デザインセンター貸会議室SEMBA

参加人数：10名

デザイナーの海外進出などで、外国人とのコミュニケーションは年々重要になっている。前年度に開催した「デザイナー向けビジネス英会話勉強会」では、広くビジネスに通じる英会話をベースに開催した。

今年度はプレゼンテーション編として、デザイナーが海外のクライアントへの提案で必須となる英会話を中心に、直訳ではない英会話を自作テキストに合わせたヒアリングと発音を反復して学習した。講師は前回同様JIDA会員のロドリゲス氏。

「弁理士から学ぶデザイン保護のススメ」

開催日：2023年3月15日（水）

開催場所：大阪デザインセンター会議室

参加人数：13名

意匠関連のデザインの保護・活用法について、知財保護のプロである弁理士が具体的な事例を交えて分かりやすく解説する勉強会を開催。第1部では、企業の事例から学ぶ「おさえておくべき意匠の保護・活用のポイント」で、講師の垣木晴彦弁理士、青木寛史弁理士が具体的なプロダクト事例を基に解説。第2部では、事前にJIDA会員へ知財の質問募集を行い、寄せられた多くの質問から講師の石井隆明弁理士が、配布資料を用いて解説、質問への回答を行った。



ONE DAY DESIGN ACADEMY KANSAI

■ブランディングとデザインチーム

リーダー：濱田秀之

「東大阪オープンファクトリー視察」

開催日：11月18日（金）

デザイナーと製造業が交流することで、デザイナーが製造の現場を知り、製造事業者がデザインの視点を取り入れることをサポートする活動を中心に行なった。2022年11月に開催された東大阪市の中小企業によるオープンファクトリーイベント「こーばへ行こう」に参加し、4社を訪問。製造事業者の特徴的な技術や課題意識についてヒアリングを行った。今後は企業経営者とデザイナーのフラットな交流の場をつくり、協業によってデザインマインドを高め、デザイン経営を意識する企業が増えることを目指す。



視察した金網メーカー・共和鋼業（株）

■モビリティチーム

リーダー：梁 眞榮

「近畿車輛工場見学会」

開催日：2022年6月30日（木） 13:00～16:10

開催場所：近畿車輛株式会社

参加者：20名

近畿車輛株式会社協力のもと、普段見ることのできない鉄道車両の製造現場を見学するとともに、国内外の鉄道車輛デザインや今後の研究開発についてお話しいただき、大型モビリティの未来を知る機会となった。現役デザイナーをはじめ、デザイナーを志す学生の方にもご参加いただき、参加者間の交流の場にもなった。



学生デザイン賞表彰式

「自動車技術会関西支部との交流会」

開催日：2022年8月5日（金） 13:00～15:00

開催場所：神戸市海洋博物館内研修室・カワサキワールド

参加者：自動車技術会関西支部会員様4名、JIDA関西ブロック運営委員4名

JIDA関西ブロックと自動車技術会関西支部の魅力拡大に向けた今後の取り組みについての意見交換を行った。

■JIDA関西ブロック学生デザイン賞

担当：竹綱章浩

テーマ：「線材を活かしたプロダクト」

協賛企業：サクラテック株式会社

エントリー期間：2022年10月～12月

作品提出締め切り：2023年1月31日（火）

応募点数：54点

審査結果：最優秀賞1点・優秀賞2点・サクラテック賞1点・JIDA賞2点

第8回目となるJIDA関西ブロック学生デザイン賞

2022は、線材を製造しているサクラテック株式会社の協賛で「線材を活かしたプロダクト」をテーマに募集を始め、計54作品の応募があった。2023年2月に一次審査を行い、一次審査を通過した6作品の中から最終審査を行った。最終審査会は3月11日の教育フォーラムと合わせて行い、同時に表彰式と記念講演会を行った。



知財保護勉強会

西日本ブロック

小さな一歩、大きな手応え

当年度はブロックリレーイベントへの参画が一番のトピックとして報告できるだろう。周年記念として全国ブロックイベントをリレー形式でつなく企画だが、各ブロックの催事規模や形態は自由で、内容の連携ではなく開催意義の連携に重きを置いたものであった。このことは、意欲はあるものどうして小さくまとまりがちな当ブロックの活動を、少なくとも全国に向けて発信できる好機と捉えることができたし、他のブロックイベントへの興味を高めることができたことも成果として大きいと感じる。

広島路面電車をテーマにインダストリアルデザインを語るという変化球な企画ながら、参加者の皆さまの好感を集めることができた。この経験を推進力に以降も話題提供に務めたい。

■70周年記念ブロックリレーイベントー

西日本ブロックオンライントークサロン

「ひろでんを知ってますか？」

開催場所：(株)GKデザイン総研広島（広島市中区）
出演：加藤一孝（講師）、大橋啓一（パネラー）、彌中

西日本ブロック ブロック長
彌中 敏和

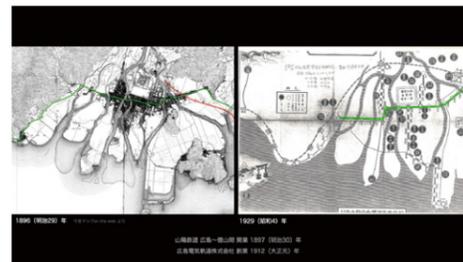


敏和（コーディネーター）

日時：2023年2月24日（金）16時～18時
参加費：JIDA会員 1,000円 / 一般 1,500円 / JIDA学生会員 無料 / 一般学生 500円



イベント告知



プレゼン映像の一部。街の成り立ちと路面電車の関係を振り返る。



イベント内容は後日、広島市文化協会の定例催事でも展示した。



広報

担当理事
芝 操枝



情報委員会 委員長
塩田 英人



JIDA創立70周年の記念すべき年であったため関連・記念イベントも多く、各委員会やブロックおよび事務局と連携しながら広報事業を推進した。コロナ禍となつてから各種イベントについては、リアル参加とオンライン参加のハイブリッド方式がスタンダードとなり、収録および配信が必須となっている。アーカイブとしての動画の配信も重要な広報の事業となっており、今年度も数多くの動画の蓄積が行われた。70周年記念イベントの集客には、会員メール配信、公式ホームページ、各種SNSでの情報発信を連携させたことに加え、今年度からは外部のイベント決済サービスの利用、PR-Timesなどの外部プレスリリースサービスの利用を開始し、ここでの情報発信との相乗効果による広報強化を行った。また、一般ビジネス誌とのコラボ企画を行い、インダストリアルデザインの重要性や役割その拡張性など、ビジネスシープルの理解を深めるべく、JIDA会員による記事の公開も行った。このように、外部との連携による共創での広報推進を行った。



YouTube — JIDA Channel

情報委員会

■イベント動画の収録・配信など

70周年記念のイベントの収録・配信ー

『JIDA Day&Night』『JIDA Rock Night Vol.1』Day&Nightでは、法人・団体正会員の株式会社ツールズインターナショナルのスタジオを借りて収録・配信。またRock Nightでは、JIDA会員のブロック代表者によるプレゼンテーションと討論を行い、ZOOMにて収録・配信。

デザインミュージアムセレクションVol.23の動画収録・配信の監督

外部のスタッフによる動画収録・配信を行った。その際、情報委員会が監督を担った。

デザインと漫画の領域を超えて～漫画家かっぴー講演会の収録・配信

70周年記念講演の一つとして東日本ブロックで行われたイベントでは、情報委員会はYouTubeによる収録・配信を行った。

JIDA定時総会と記念シンポジウム

昨年に続きリアルとZOOMを使ったハイブリッド形式で行った。中村 勇吾氏のプロモーションビデオをここで正式に発表した。情報委員会によるYouTube収録・配信を行った。

記念シンポジウムでは老舗刃物メーカー「貝印」による講演を行った。これも引き続きYouTubeでの収録・配信を行った。

JIDA 70周年記念式典 第一部・第二部の収録・配信の監督

70周年記念式典では、外部のスタッフによる動画収録・配信を行った。その際、情報委員会が監督を担った。

伊藤邦久氏による手描きアイデア・スケッチによるデザインワークショップの収録・編集

JIDA 70周年記念事業としての伊藤邦久氏による手描きアイデア・スケッチによるデザインワークショップの収録・編集を行った。株式会社ツールズインターナショナルによる手元・画面カメラとJIDAの全体カメラの同時撮影を行った。

CHINAPLAS講演動画制作

中国・深圳市で行われるプラスチック展示会のCHINAPLASのデザインブースのイベントとして招聘された日本人講師の動画制作を行った。これは、コロナ禍で現地訪問しづらい状況下での、特別な措置として動画による講演を行うことを目的に制作したモノ。外部のスタッフに依頼し撮影・編集、情報委員会は全体の監督を担った。



かっぴー講演会配信風景

広報

出版委員会委員長
後藤 規文



ギャラリー委員会委員長
登 豊茂男



■JIDAメインサイト・その他のリニューアル

JIDAの公式サイトを再構築し、大幅なリニューアルを実施した。会員証もカード形式を廃止し、会員専用サイト内にオンライン化した。ショッピングサイトはShopifyショッピングサービスを利用する形に変更した。各種イベントの申込は、Peatixというイベント決済サービスを利用して手続きの簡便化を図った。

■SNSその他での情報発信のさらなる強化

70周年記念ということもありイベントの集客のため、さらに広報に力を入れた。プレスリリースの活用、FacebookとTwitterなどのSNS有料広告など、新しい試みを行った。これにより通常のイベント参加者数と比較し数を大幅に伸ばすことができた。

出版委員会

■アンニュアルレポート2021年度版の編纂

エディトリアルデザインを株式会社モノグラフィーツに依頼し、2021年度JIDA事業報告書（アンニュアルレポート）の編纂を行い、8月に印刷完了し頒布した。

■JIDA 70周年のロゴを制作

JIDA 70周年のロゴデザインを佐藤卓氏に依頼し、JIDAロゴとの整合性をとってデザイン決定の調整を行った。70周年関係の式典や展示、記念誌などの出版物の、グラフィックの監修をVIに添って行った。

■「DESIGN PROTECT」に広告を掲載

（一財）日本特許情報機構 [Japio] の機関紙である「DESIGN PROTECT」9月号にJIDAの広告を掲載した。

■佐藤卓氏の著書にJIDAロゴが掲載

佐藤卓氏著の「マークの本」にJIDAのロゴが掲載された。

ギャラリー委員会

■70周年記念事業－会員向け70周年記念オリジナルTシャツの企画、製作

70周年記念事業の一環として、中村勇吾氏制作のモーションアイデンティティの一部の画像を利用し、会員向けオリジナルTシャツの企画、製作を行った。

■70周年記念事業－ダイヤモンド社&JIDA企画連載事業

ダイヤモンド社が運営する「ダイヤモンド・オンライン」にて、JIDA会員がデザインに関するテーマに沿って執筆し連載する企画、運営を行った。第1弾企画のテーマは「拡張するデザイン」。このテーマに6名のJIDA会員が執筆を行った。

#1: 経営が進むべき方向を導き出すデザインの「d」とD」－ GKデザイン機構 田中 一雄氏

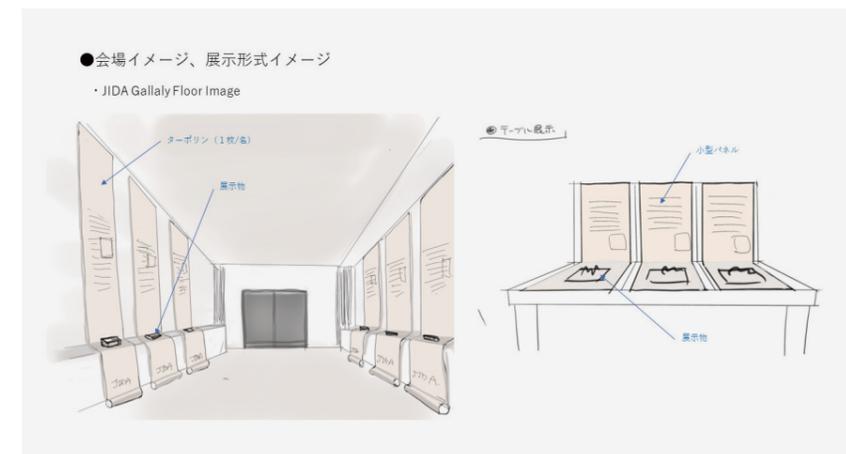
#2: いま、中小企業こそ取り組むべきデザイナーを巻き込んだ企業ブランディングー ヒロタデザインスタジオ 廣田 尚子氏

#3: 「モノづくりのまち東大阪」は生き残れるか、デザイナー集団のチャレンジとはー ヒラカワデザインスタジオ 平川 真紀氏

#4【前編】多様性のデザインを「言葉」によって導きだす、クリエイティブセンターの挑戦、【後編】デザインの「繋ぐ力」でソニーの未来を可視化する、クリエイティブセンターの挑戦ー ソニークリエイティブセンター石井大輔氏

#5: エンジニアリングから始める、技術系中小企業のための「デザイン経営」ー ファシオネ 登 豊茂男氏

#6: ヤマハの楽器デザインに学ぶ、長期ビジョンとビジネスをつなぐ視点ー ヤマハデザイン研究所 川田 学氏



JIDA Gallery Event

担当理事
財務委員会委員長
御園 秀一



担当理事
総務委員会委員長
蘆澤 雄亮



内務

運営規約・ルールの制定・更新の提言、財務の公正運用

総務委員会と財務委員会で構成される内務は、JIDAの円滑な運営と発展のため、運営ルールの制定・更新提言と財務の公正運用を行っている。

総務委員会

今期は全般的な環境見直しをすることがあることが判明したため、総合的に活動を行った。以下、その概要である。なお、規程類においては受託事業関連の規程類整備が未完了状態のため、これについては早急に進める。

1. 施策検討

(1) 法人格：公益・一般の選択について再検討した。結論としては現状通り公益社団法人を選択する方向性となっているが、これについては引き続き検討する予定である。

(2) 組織体制：現在の内閣府に申請6事業に対応した組織をいくつか束ねて円滑に事業進捗する可能性を検討し、次年度組織再編にて実施する予定である。

(3) 役員研修会の強化：役員の法的知識が不足との課題から、従来からの役員研修会に加え、法的知識強化を目的とした研修会を公益法人協会に依頼。次期役員より適用する。

2. 規定検討

(1) 選挙関連規程類見直し：理事・監事補欠選定に関する記述に不足があることが発覚したため、役員規程、役員選挙規程、選挙管理委員会の手引きについて改定を実施。

(2) 監事の行動規範：役員規程および監事監査運営規則につき改定を実施すると共に、外部専門家の監事選任を可能にする改定を実施。

3. 作業効率化

(1) JIDAサーバーからGoogleドライブへの移行整備を実施。データは順次移行予定である。

(2) 議事録作成等につき一部外注化する等、事務作業の効率化を図った。

財務委員会

今期は創立70周年記念事業を始めとする諸活動が再活性化した。昨年度では経常収益、事業収益ともに増加し、経常費用も増加している。総じて計画を上回る実績を示したのは資格付与、セレクション・ミュージアム、調査・研究、交流の各事業であった。半面、ほとんど活動実績がなかった事業や委員会もあり、次年度の立て直しを期待したい。これらの結果、前期比の正味財産期末残高は周年事業積立

残額を算入すると若干のプラスとなる。

70周年記念事業は予定通り順調に行われ、そのための積立資金残額は前期費消分を除く残額が今期で全て適正に費消された。一方、公益目的事業会計はマイナスとなったが、周年事業の資金取崩し加算でプラスとなり収支相償の要件を満たすことができなかった。この分は2023年度の公益事業の中で費消することとなる。

今年度も月次収支報告は確実に実施され理事会にて適正に報告された。また、中間監査、本監査も適正に行われたことを付記しておきたい。

2023年度の予算額は経常収益、経常費用とも2022年度実績に対しては控えめの数字だが、正味財産期末残額は前期実績比微増としている。今期は周年事業があったため通常年より収益・費用とも膨らんだという側面があるが、受託他の事業の継続発展に加え、今期低調であった事業・委員会活動を再起動させて、コロナ以後のより健全な財務基盤構築に努めたい。



「DESIGN PROTECT」掲載広告



JIDA 会員証



JIDA 70周年ロゴ



70周年記念オリジナルTシャツの企画、製作



ダイヤモンド社&JIDA企画連載



「マークの本」(佐藤卓氏著)

新入会員紹介



■藤澤 ゆき
 勤務先: YUKI FUJISAWA
 主な分野: プロダクトデザイン (チェア、文房具など)
 申込動機: 活動の幅を広げ、セミナー等に参加したいと考えています。
 活動希望: セミナーなどへの参加



■鳥飼 啓介
 勤務先: TORI PROJECT
 主な分野: デザインコンサルティング、自動車デザイン、プロダクトデザイン
 申込動機&活動希望: 日本の工業デザインの発展に貢献し、セミナー、ワークショップ等への参加を希望。



■黒田 憲司
 勤務先: アルチザンファクトリー
 主な分野: プロダクトデザイン (財布、リュック、ペンケース等)
 申込動機&活動希望: 新しい気づきや発見を会員様との交流で頂けたらと考えます。交流会や勉強会への参加を希望。
 Web: <https://artisanfactory.jp/>



■伊藤 邦久
 勤務先: Kuni Ito Design Studio
 主な分野: トランスポートデザイン・デザイン (主に北米自動車デザイン情報)・工業デザイン教育及び指導
 申込動機&活動希望: JIDAを通じてアメリカのデザイン活動 (特にデザイン教育及び自動車デザイン) の普及を目的に、年数回のデザイン・ワークショップ (デザイン学生及びデザインプロフェッショナル対象) を実施したいと考えています。



■荒川 尚久
 勤務先: フリーランス
 主な分野: アパレル企画開発・ヘルスケアプロダクト開発
 申込動機: 活動の幅を広げたい
 活動希望: 他分野のデザイナーとの交流、セミナーへの参加



■小林 和史
 勤務先: フリーランス
 主な分野: オリジナルロボットデザイン、玩具原型製作
 申込動機&活動希望: 会員との情報交換と交流をし、個人ではできない活動に興味があります。
 Web: <http://moderhythm.blog26.fc2.com/>



■安齋 利典
 勤務先: 実践女子大学 生活科学部 生活環境学科
 プロダクトデザイン研究室
 主な分野: プロダクトデザイン (オーディオ機器、ビデオ機器、無線機器等)
 申込動機&活動希望: 行事参加や会員との情報交換により、新しい知見が得られることに期待しています。
 Web: <https://www.jissen.ac.jp/>



■竹下 早紀
 勤務先: 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科
 インテリアデザインコース助手
 主な分野: ものとなと空間の関係性について考えるデザイン
 申込動機&活動希望: デザイナーとの交流を通じ、制作活動を活発に行いたい。デザイナーとの交流、プロジェクトへの参加を希望。
 Web: <https://www.sakitakeshitadesign.com/>



■本田 正人
 勤務先: フリーランス
 主な分野: プロダクトデザイン (玩具等)
 申込動機&活動希望: 他の会員との交流、イベント等への参加を通じ、知見を広げ未来の自分への糧としたいです。イベントやZoomでの座談会・研究会を中心に参加したいと考えています。



■谷口 遥太
 勤務先: フリーランス
 主な分野: フィギアの彩色
 申込動機&活動希望: 工業製品サンプルの彩色についての情報交流や提供ができればと考えています。彩色に関する活動に参加したいと考えています。



■大治 将典
 勤務先: Oji & Design
 主な分野: クラフト工芸デザイン
 申込動機&活動希望: JIDA会員の方よりお誘いがあり入会いたしました。クラフトとデザインの関係を考えてゆきたいと思っています。
 Web: <https://o-ji.jp>



■神田 剛
 勤務先: K&A
 申込動機&活動希望: 東日本ブロック環境委員会のサポートを継続的にたいく入会を希望しました。東日本ブロック環境委員会への活動支援。



■岩岡 敦
 勤務先: イワオカデザイン
 主な分野: UX、UIデザイン
 申込動機&活動希望: 仕事の新しい展開を計画しているので交流を広め、デザイン調査や研究に関わる活動をしたい。
 Web: <https://jp.linkedin.com/in/iwaoka>



■小林 誠一郎
 勤務先: 有限会社モデルキカク
 主な分野: プロダクトデザイン (駐輪スタンド等)
 申込動機&活動希望: 自分が発案したアイデア及びデザインを国内外問わず広く発信するきっかけとできればと思い入会しました。駐輪にデザインやアイデアを取り入れて環境づくりに関わっていきたくと思っています。
 Web: www.modoru.jp



■石井 海
 勤務先: EMPTINESS
 主な分野: ロボット等の外装デザイン、機械設計等
 申込動機&活動希望: インダストリアルデザイン業界の情報収集と会員との交流をし、インダストリアルデザインを通して機械設計・電子回路・メカトロニクス・ソフトウェアなどのエンジニアリングの知見を深めるような活動に参加したい。
 Webサイト: <https://ishii-kai.myportfolio.com>



■公立大学法人 静岡文化芸術大学
 E-mail: kyogaku@suac.ac.jp
 Web: <https://www.suac.ac.jp/>



■清水 覚
 勤務先: アクセンチュア株式会社
 主な分野: グラフィック、プロダクトデザイン
 申込動機&活動希望: 会員との情報交換、スキルアップ、個人事業のネットワークづくりをしたいと考えています。出版委員会、社会課題研究委員会に興味があります。
 Web (個人活動): www.okunote.tokyo



■MILLAR IAN
 勤務先: Shimoda Designs
 主な分野: プロダクトデザイン (バッグ等)
 申込動機&活動希望: 協会を通じて日本の最先端のデザイン、動向、様々なデザイナーの活動等の情報を得たいと思っています。
 Web: <https://shimodadesigns.com/>



■山崎 義樹
 勤務先: Design / Yamazaki Yoshiki
 主な分野: プロダクトデザイン (生活用品等)
 Web: <https://www.yamazakiyoshiki.jp/>



■武蔵塗料株式会社
 担当者: 金子友睦
 E-mail: tomoyoshi.kaneko@musashipaint.com
 Web: <https://musashipaint.com/>



■永田 宙郷
 勤務先: TIMELESS
 主な分野: 商品と事業のデザイン
 申込動機&活動希望: 地域産業や伝統技術の活用領域を広めるための商品開発や事業開発に関わるなかで、よりデザイナーやデザイン関係者と共に学び、研鑽しながら自らの仕事を高めていきたいと考えて入会しました。地域産業、伝統技術をベースにした他産業との協業事業に携わりたくと考えております。
 Web: <https://nagataokisato.themedia.jp/>



■松田 智子
 勤務先: 才能教育アカデミー世田谷デザイン
 主な分野: プロダクトデザイン (オーディオ機器、ビデオ機器等)、教育、作家。過去に三洋電機、日本ビクター、未来技術研究所、ケンウッドデザインでインダストリアルデザイナーとして活動。Gマークを複数受賞。現在は幼児から大学生、障害のある生徒へ学校等で講師、教師として指導。作品制作、販売。
 申込動機&活動希望: これからのデザインについてより積極的な活動を目指し、様々な交流会、セミナー、委員会等に参加できればと考えております。
 Web: <https://setagaya-design.com/>



■草野 紀親
 勤務先: (株)かたちなきもの
 主な分野: デザインマネジメント
 申込動機&活動希望: 会員との情報の交換・交流を通じて新しい発見ができればと考えています。50歳を迎えるにあたってデザインの素晴らしさを伝えたいと強く思っていることがきっかけです。「常に社会と時代の変化に目を向け、インダストリアルデザイン通じた心豊かな未来の創造を目指して歩み続ける」に共感いたします。いろいろな活動に参加し、体験・経験すること (生きた学び) を大切にしたいと考えています。
 Web: katachinakimono.com

2023年8月1日発行

発行人：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会

理事長：太刀川 英輔

編集：広報担当理事 芝 操枝、広報出版委員長 後藤 規文

エディトリアルデザイン：株式会社モノグラフアーツ

広報委員会・JIDA事務局

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル 4F

TEL：03-3587-6391 FAX：03-3587-6393

jidasec@jida.or.jp